

平成28年度日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会 (第49回) プログラム集



土佐 からの 新風

～ 砕考・再構・最高～
さいこう サイコー Bravo

会 期 平成28年11月26日(土)～27日(日)

会 場 高知市文化プラザかるぽーと

学会長 小倉克巳

<http://www.e-g.co.jp/jamt49chushi/>

主催:一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 担当:一般社団法人 高知県臨床検査技師会



Serving our Customers and their Patients

すべての人へ更なる安心を

今までの高性能はそのままに、新機能をぎゅっと凝縮
より快適に よりスピーディーに

Superior

コンパクトなボディに さらなるハイスペックを

- 1 コンティニアス・ラック・ローディング システム**
検査を止めることなく、いつでも検体追加が可能です。
- 2 試薬オートレジストレーション機能**
試薬ラックへ試薬をセットするだけ。必要な情報はすべて自動で登録されます。
- 3 CTS (Closed Tube Sampling) 機能** ※オプション機能
高精度なサンプリング性能をそのまま維持できる
革新的な採血管ピアシング機能です。



Smart Concept

400 test/h のコンパクトモデルに
さらなる使いやすさと新機能を凝縮

販売名 血液凝固自動分析装置 CP3000
製品番号 製品番号 13420001 (A3220001)
一般約名称 血液凝固分析装置
一般医療機器、特定保守管理医療機器

血液凝固自動分析装置 コアプレスタ®シリーズ

Automated coagulation analyzer
CP3000

製造販売元 **積水メディカル株式会社**

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目13番5号 TEL 03(3272)0681(代表)
ホームページアドレス: <http://www.sekisui-medical.jp/>

製造元 **株式会社 島津製作所**

〒604-8511 京都市中京区西ノ京島津町1

目 次

日程表	2
会場への交通案内	4
会場案内	6
学会開催のご挨拶	10
平成28年度日臨技中四国支部医学検査学会(第49回)の開催にあたって	11
学会場のご案内	12
参加者へのご案内	14
司会・座長・演者へのご案内	16
企業展示のご案内	17
中高校生のための職業紹介—医療を支える臨床検査技師ってなに?—	19
懇親会のご案内	20
中国四国臨床衛生検査学会・医学検査学会のあゆみ	21
県別演題教	22
一般演題座長一覧	23
特別講演・会長講演・教育講演一覧	25
シンポジウム一覧	26
特別企画一覧	28
特別企画・日臨技企画一覧	29
ランチョンセミナー一覧	30
一般演題一覧	32
実行委員名簿	47
共催・協賛団体一覧	48

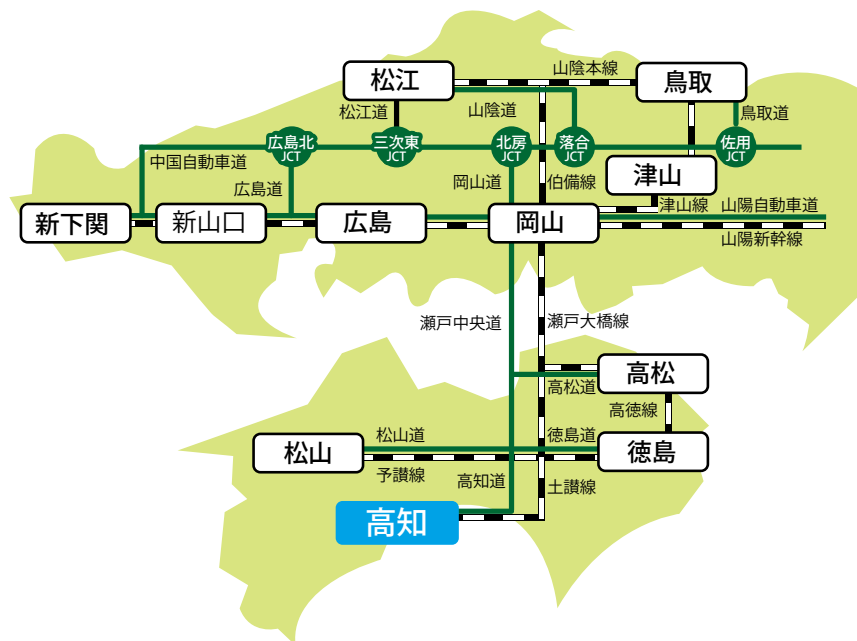
2

第2日目 平成28年11月27日(日)

かるぽーと									トップワン四国	かるぽーと	
受付	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	展示会場	
1Fホール	2F大ホール	2F小ホール	7F第1展示場	7F第2展示場	7F第3展示場	7F第4展示場	11F大講義室	9F第2学習室	1Fホール	7Fフロア	
8:00	収容人数	500	200	300	300	200	100	150	200		
総合受付	一般演題 生理	一般演題 血液	一般演題 臨床化学	一般演題 生理	日臨技企画Ⅰ 「街中 モニタリング」	一般演題 情報 チーム医療	特別企画 3 スライド カンファレンス	血液 鑑 検	一般演題 微生物	機器 試薬 展示	
					8:30～9:30	176～183					
					日臨技企画Ⅱ	8:30～9:50					
					ミニシンポジウム 「病棟業務」 (184～188) 9:45～11:15						
	8:30～11:30	8:30～11:30	8:30～11:30	8:30～11:30				143～157	8:30～11:00		
	ランチョンセミナー 9	ランチョンセミナー 10	ランチョンセミナー 11	ランチョンセミナー 12	ランチョンセミナー 13	ランチョンセミナー 14	ランチョンセミナー 15				
	フタ電子四国版 売場	シーパスヘルスケア IP/AST/AST/AST	臨床化学 メルディエンス	栄養化学 栄研化学	臨床化学 メルディエンス	アザノファーマ シュー・イ・エス・ジョ ハル	メルディエ				
	11:45～12:45	11:45～12:45	11:45～12:45	11:45～12:45	11:45～12:45	11:45～12:45	11:45～12:45				
	8:00～13:00										
	シンポジウム 1 生理	シンポジウム 2 管理運営	シンポジウム 3 臨床化学 免疫血清	シンポジウム 4 一般	シンポジウム 5 輸血	シンポジウム 6 病理細胞		9:00～13:30	シンポジウム 7 微生物		9:00～13:30
「プロに学べ！次の 一手～病態から みる生理検査 ～」	「災害時に向けた 検査室運営」	「最高のシステム 構築を求めて～ 生化学・免疫分 析装置の特性に ついて知る～」	「AKIを再考す る！」	「輸血部門におけ るチーム医療～ 患者中心の輸血 医療を目指して ～」	「病理検査で診る 感染症～病原体 の世界を覗く～」			「感染症検査の 一歩進心～新・ 機軸」			
13:00～15:00	13:00～15:00	13:00～15:00	13:00～15:00	13:00～15:00	13:00～15:00			13:00～15:00			
開会式 15:10～15:30											
16:00											
17:00											
18:00											

■会場への交通案内■

【交通アクセス】

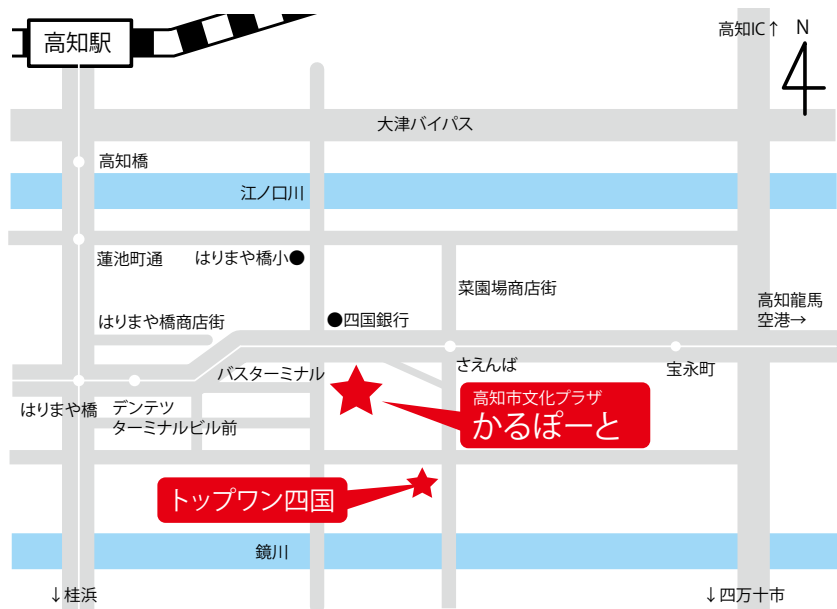


【JRでの所要時間】

JRでの所要時間

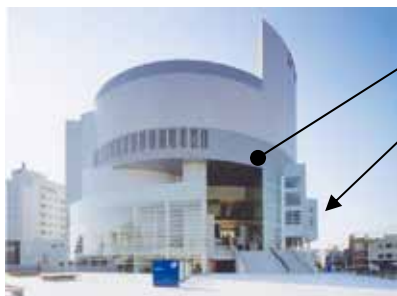
松山駅	JR四国バス 南国エクスプレス	約2時間30分			
徳島駅	JR四国バス 高知徳島エクスプレス	約2時間40分			
高松駅	JR四国バス 黒潮エクスプレス	約2時間			
新下関駅	山陽新幹線	約1時間45分			
新山口駅	山陽新幹線	約1時間10分			
広島駅	山陽新幹線	約1時間40分			
鳥取駅	スーパーいなば	約1時間50分			
松江駅	特急やくも	約2時間40分			
			岡山	高知	
					高知市文化プラザ かるぽーと

会場周辺のご案内



■会場案内■

高知市文化プラザかるぽーと

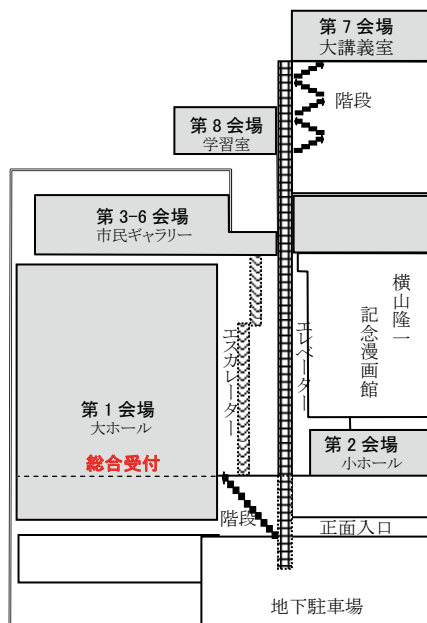


高知市文化プラザかるぽーと(第1～8会場)

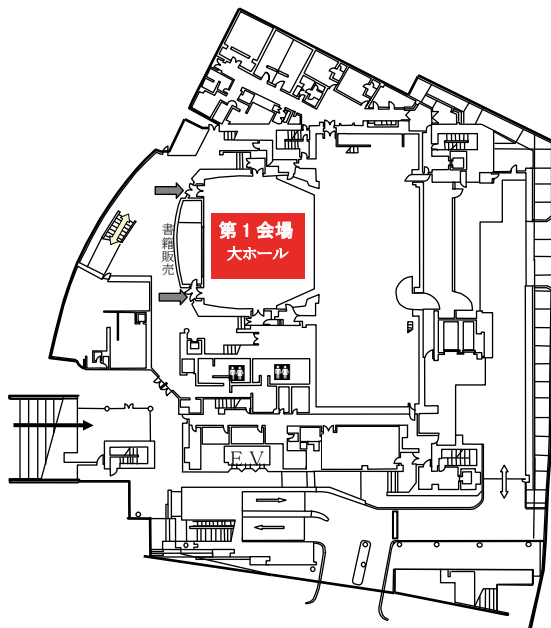
トップワン四国 (第9会場)

高知市文化プラザかるぽーと南側です。

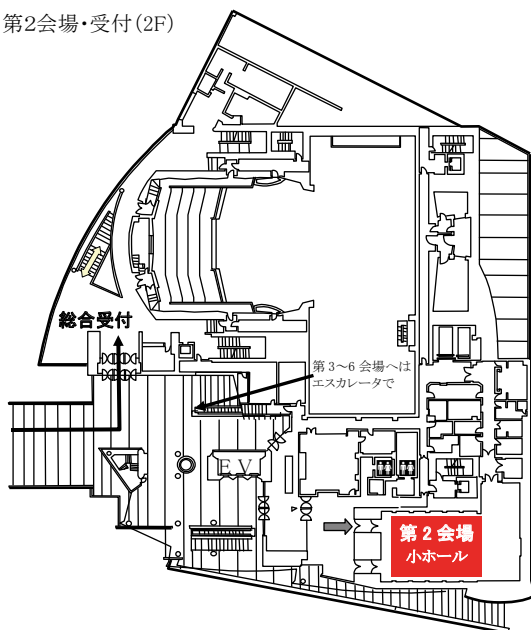
かるぽーとフロアーガイド (断面図)



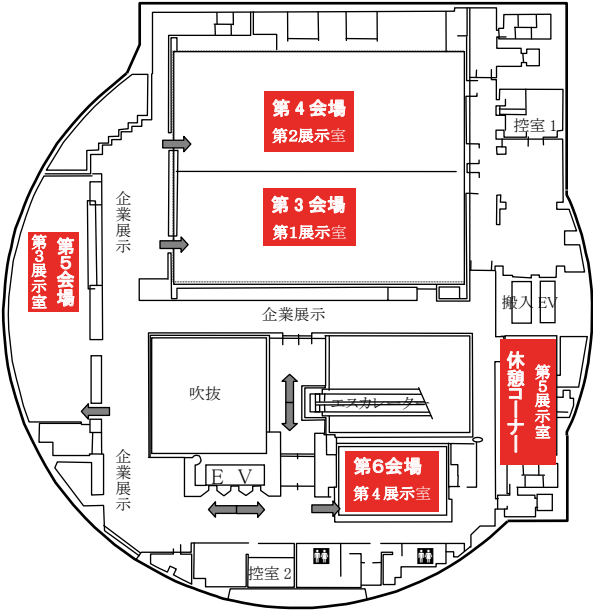
第1会場(1F)



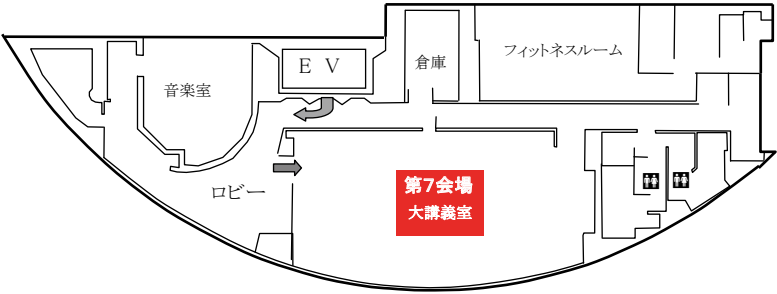
第2会場・受付(2F)



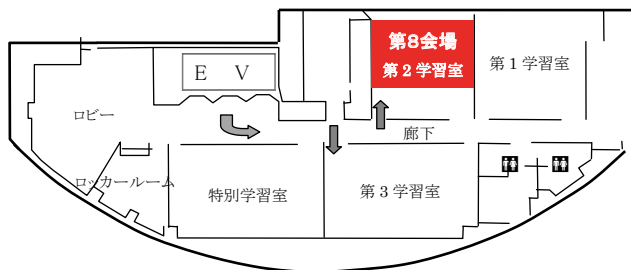
第3会場～第6会場(7F)



第7会場(11F)

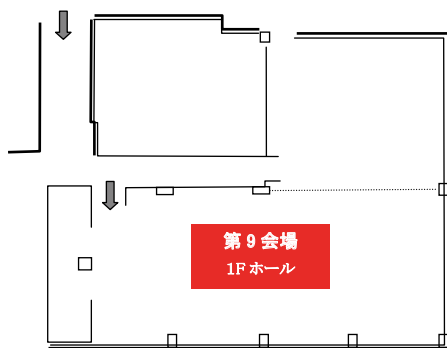


第8会場(9F)



トップワン四国

第9会場(トップワン四国1F／かるぽーとビル南側)



■学会開催のご挨拶■

平成 28 年度日本臨床衛生検査技師会
中四国支部医学検査学会(第 49 回)
学会長 小倉 克巳



平成 28 年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第 49 回)は、(一社)高知県臨床検査技師会の担当で、平成 28(2016)年 11 月 26 日(土)・27 日(日)の2日間、「高知市文化プラザかるぼーと」および「トップワン四国」にて開催いたします。

本学会のメインテーマは「土佐からの新風」、サブテーマは「砕考・再構・最高(さいこう サイコー Bravo)」としました。しがらみにとらわれずに砕いて壊して考えるという意味で「砕考」という当て字を入れて、再構築する「再構」、そして「最高」といえるものを生み出したいという希望が、サブテーマには込められています。幅広い年齢層の臨床検査技師と幅広い臨床検査領域の関係者が集って意見交換ができる場所、そういう学会にしたいと考えています。

本学会は、特別講演(公開講座)には高知市出身の小説家 山本一力先生をお招きして「生き方雑記帖 2016」をご講演頂きます。また、学会長講演を復活させて「臨床検査の自動化に挑んだ 30 数年～砕考・再構は最高か?～」と題して、私の高知での 36 年間を振り返ります。教育講演Ⅰは宝塚市民病院消化器内科(消化器内科センター)副院長 阿部 孝先生に「小腸内視鏡と技師の役割」、教育講演Ⅱは熊本大学大学院生命科学研究部生体情報解析学分野教授 奥宮敏可先生に「遺伝性疾患に対する新規治療戦略と近未来の遺伝子医療」についてご講演頂きます。

また、日臨技企画Ⅰとして「術中モニタリング」をテーマに講演とパネルディスカッション、Ⅱとして「病棟業務」に関するミニシンポジウムが取り上げられています。さらに特別企画としてライブレクチャー2題とスライドカンファレンス、シンポジウム7題、ランチョンセミナー15題、一般演題189題、そして臨床検査技師養成校の8校が参加した「中高生のための職業紹介」が行われます。機器・試薬展示に関しては参加メーカが 33 社で 45 小間(10/31 現在)、丸善雄松堂(株)の書籍販売と、盛り沢山の企画でお待ちしております。

さて、高知といえば、やはり「酒宴」。懇親会では、土佐の宴と恵まれた山の幸・海の幸、地酒をご堪能頂けたらと思います。末筆ながら、多大なるご支援ご協力を賜りました各県技師会役員ならびに会員の皆様、賛助会員の皆様に感謝申し上げます。

高知県臨床検査技師会会員一同、「おもてなしの心」で皆様のお越しを心よりお待ちしておりますので、多数の参加を宜しくお願い申し上げます。

■平成 28 年度日臨技中四国支部医学検査学会(第 49 回)の開催にあたって■

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長 宮島 喜文



本学会が、一般社団法人高知県臨床検査技師会の小倉克巳学会長の下で、メインテーマを「土佐からの新風」～砕考・再構・最高～として盛会に開催されますことを会員の皆様とともにお慶び申し上げます。

また、日頃から一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(以下、日臨技と略す)の活動に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

我が国は2025年に超少子・高齢化のピークを迎え、医療や介護の需要が高まることから、さまざまな改革が進んでいる。特に医療においては「病院完結型」から「地域完結型」の医療供給体制の構築に向けて大きく舵がとられ、今後、都道府県単位での医療計画策定が進み各医療機関の病床機能の分化や在宅医療の確保が課題となってくる。

このような中、平成 26 年 6 月の第 168 回国会で成立した「医療介護総合確保推進法」で、チーム医療推進を図るために臨床検査技師等に関する法律(第二十条の二)に採血と並んで「検体採取」が、新たに医行為の一部が臨床検査技師の業務として認証されました。検体採取が可能となったことにより、患者に対して検査説明、検体採取、適正な検査、報告書の作成、検査結果の説明まで一連の検査業務を担い医師の診断に円滑に繋ぐ臨床検査技師に一日でも早く成らなくてはならない。具現化するものとしては、病棟検査技師や救急検査技師、在宅検査技師などと称されるものであり、これを確立するために、もはや、私たちは理論ではなく、実学として経験し、学ぶことの重要性を自覚し、周囲の理解を得る行動に移し、早速に第一歩を記す時期に来ているのではないかと。

一方、科学技術の進歩は目覚ましく、第4次産業革命と言われるロボット化や人工知能が臨床検査の領域に導入されることも遠い将来ではないであろう。これも私たちは視野に入れ、生涯教育を積んでいく必要があるが、日々においては実証データを分析し、常に客観的判断が下させる能力を身に着けることが必要であり、その舞台となる学会発表には大きな意義があります。

本学会のメインテーマである「土佐からの新風」をテーマに進むべき方向性について考えていただくことは非常に有意義である。あわせて学術活動の更なる発展と日頃の研究成果を発表する場として参加される会員にとって実り多き学会であることを祈念申し上げます。

最後になりましたが、本学会を運営するにあたりご尽力をいただきました谷内亮水実行委員長をはじめ、高知県臨床検査技師会の皆様に心より感謝申し上げます。

■学会場のご案内■

1. 総合案内

高知市文化プラザかるぼーと2Fに、総合案内を設置します。参加手続きの案内、学会場の案内、事前登録の内容確認（日本旅行担当）など、お気軽にお問い合わせください。

2. 学会受付

高知市文化プラザかるぼーと2F（総合案内の左手）に設置します。**学会受付は一ヶ所のみ**ですので、第9会場（トップワン四国）の方は気を付けてください。来賓・招待者の受付、当日の受付（参加登録・生涯教育点数登録）、事前参加登録者の受付（生涯教育点数登録）、懇親会受付があります。

3. 会場の呼び出しについて

学会会場内における参加者の呼び出しは行いません。

4. クローク

高知市文化プラザかるぼーと2F（総合案内の右手）に設置します。貴重品のお預かりはお断りします。お預かりは当日限りとし、翌日までのお預かりはいたしませんので、当日の閉鎖時間までに必ずお引き取りください。

設置時間：11月26日(土) 8:00～18:00

11月27日(日) 8:00～15:45

5. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーの当日整理券の配布場所・時間は下記のとおりです。

場 所：高知市文化プラザかるぼーと1F 第1会場前のロビー

配布時間：11月26日(土) 8:00～10:00

11月27日(日) 8:00～10:00

参加登録を済ませた方から、ランチョンセミナー整理券配布場所へお並びください。事前参加登録でランチョンセミナーの事前予約を行った方は、別途運営事務局よりご案内いたします。

※整理券の枚数は限りがございます。無くなり次第、終了します。あらかじめご了承ください。

6. トラベルデスク

総合案内に設置します。宿泊、旅券、観光、食事案内などにご利用ください。

7. 駐車場

駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用ください。

8. 喫煙及び飲食

建物内は全館禁煙です。屋外に設置された喫煙所をご利用ください。また、発表会場内での飲食はランチョンセミナーを除き禁止いたします。

9. 携帯電話等

会場に入場する際は、携帯電話等はマナーモードにするか、電源をお切りください。学会進行の妨げや、その他の参加者の迷惑にならないようご注意ください。

10. 託児所

詳細は学会ホームページにてご確認ください。

11. 次期担当県（山口県）のPRコーナー

高知市文化プラザかるぽーと2Fに設置します。

12. 中高校生のための職業紹介コーナー

高知市文化プラザかるぽーと1Fに設置します。

13. 書籍販売コーナー

高知市文化プラザかるぽーと1F 第1会場前のロビーで、丸善雄松堂株式会が書籍販売を担当します。医療関係書籍の他、日臨技発行図書や日臨技監修のJAMT技術教本シリーズ（新刊本）が販売されます。

学会本部

・当日

高知市文化プラザかるぽーと2F 「学会本部」を設置します。

・運営本部（会期中のお問い合わせ先）

イブニング・グロー

〒780-0912 高知市八反町1丁目15番15号

TEL：088-824-2715（会期中のみ）

FAX：088-824-9244

E-mail:jamt49chushi@e-g.co.jp

・学会事務局（会期中のお問い合わせ先）

一般社団法人 高知県臨床検査技師会

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-45 総合あんしんセンター内

TEL：088-855-6788

■参加者へのご案内■

1. 参加受付

本学会へご参加いただくにあたり、事前参加登録または当日受付のいずれかをお済ませください。

＜受付場所＞ 高知市文化プラザかるぼーと 2 階「総合受付」のヶ所

＜受付時間＞ 11 月 26 日(土)8:00 ～ 17:00 / 11 月 27 日(日)8:00 ～ 13:00

●事前参加登録者

- ・指定期日までに入金が確認できた方には学会参加証(領収書兼)をお送りいたしますので、当日は必ずご持参ください。日臨技会員の方は、受付時間内に「生涯教育研修認定受付」に会員証をご提示ください。

●当日受付(現金受付のみ)

- ・当日受付の方は、当日参加登録票にご記入し、窓口へお越しいたき、参加費をお支払いのうえ、学会参加証(領収書兼)をお受け取りください。
- ・日臨技会員の方は、受付時間内に「生涯教育研修認定受付」に会員証をご提示ください。
- ・日臨技会員証をお持ちでない方は、会員を証明するもの、または所属技師会の発行した証明書を代わりにご提示ください。

※会場内では必ず学会参加証に所属・氏名を記入のうえ、ご着用ください。

※学会参加証の再発行はできませんので大切に保管してください。

2. 参加費

- 日臨技会員・法人賛助会員・関連団体会員：5,000 円
- 日臨技非会員：15,000 円
- 学生・大学院生：無料

3. ランチョンセミナー整理券配布

当日の整理券配布は、高知市文化プラザかるぼーと 1F ロビーのランチョンセミナー整理券配布コーナーにて、8:00 から先着順で配布します。尚、整理券の数量には限りがございますので、ご了承ください。

※事前参加登録時に申し込まれたランチョンセミナー整理券の「再発行」「変更」はできません。

※整理券はセミナー入場時にお弁当とお引き換えください。

※整理券はセミナー開始後 10 分を経過しますと無効となります。

※整理券はお一人様一日あたり 1 枚限りとし、無くなり次第終了とさせていただきます。

4. 生涯教育研修認定について

学会に参加された日臨技会員の方は、生涯教育研修制度に従って下記の点数が認定されます。

	参加のみ	演者・講師	司会・座長	共同演者
1 日のみ	20 点	40 点	30 点	30 点
2 日間	30 点	50 点	40 点	40 点

5. 懇親会

- 日 時:11 月 26 日(土)18:30 ～
- 会 場:三翠園
- 参加費:5,000 円

※定員になり次第受付を終了させていただきます。ご了承ください。
※事前予約特典として懇親会会場までの移動に便利、無料電車券プレゼント！

6. 会期中の問い合わせ先

高知市文化プラザかるぽーと
TEL: 088-883-5011

7. その他

- 学会長の許可のない提示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断わりいたします。
- 会場内では携帯電話のスイッチをオフにいただくか、マナーモードに設定してください。

■司会・座長・演者へのご案内■

1. 進行情報

- ・一般演題：発表 7 分・質疑 3 分
- ・発表終了 1 分前に黄色ランプが点灯、終了時に赤色ランプを点灯してお知らせします。
円滑な進行のため、時間厳守をお願いいたします。
- ・演台上には、モニター、キーボード、マウスを用意しております。演台に上がると最初のスライドが表示されますので、その後の操作は各自で行ってください。

2. 司会・座長の先生へ

総合受付にて参加登録後、ご担当セッションの開始 15 分前までに、各会場内の次座長席にお座りください。 **注）会場前での司会者・座長受付は行いません。**

3. 演者の先生へ

- ・PC発表データの受付
- 1) **発表データは事前送付を原則とさせていただきます。**
- 2) **送付先は E-mail : jamt49chushi@e-g.co.jp 学会運営事務局迄お願い致します。**
尚、やむを得ず当日持参される場合は、セッション開始 30 分前までに発表施設内の PC センターにて、データの試写および受付を行ってください。
- 3) 学会中の PC 発表データの受付場所は以下の通りです。

発表会場	データー受付場所	受付時間
第 1～第 6 会場	高知市文化プラザかるぼーと 2 階 総合受付 横	11 月 25 日 (金) 17:00～19:00 11 月 26 日 (土) 8:00～18:00
第 9 会場	トップワン四国 1 階ホール 1 階 ホール前	11 月 27 日 (日) 8:00～14:00

●データによる発表の場合

- 1) 口演発表は、すべて PC 発表 (Windows PowerPoint) のみといたします。
- 2) 発表データは、PowerPoint 2007・2010・2013 で作成してください。また、作成に使用された PC 以外でも必ず動作確認を行っていただき、USB フラッシュメモリーまたは CD-R にてご持参ください。
- 3) フォントは特殊なものでなく、OS 標準フォントをご使用ください。
＜データの作成環境＞
フォント (日本語) : MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝
(英 語) : Arial, Century, Century Gothic, Times New Roman
- 4) 発表データは終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

●PC本体持込による発表の場合

- 1) Mac で作成したものと動画・音声を含む場合は、必ずご自身の PC 本体をお持込みください。
また、ビデオデッキによる VTR の再生は出来ません。
- 2) 会場でご用意する PC ケーブルコネクタの形状は、D-sub mini 15pin です。この出力端子を持つ PC をご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。
- 3) 再起動することがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- 4) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
- 5) 動画データ使用の場合は、Windows Media Player で再生可能であるものに限定いたします。

■企業展示のご案内■

1. 展示会場

高知市文化プラザかるぼーと7F

2. 開催日時

平成28年11月26日(土) 9:30 ~ 17:00

平成28年11月27日(日) 9:00 ~ 13:30

3. スタンプラリー

企業展示会場にてスタンプラリー抽選会を実施します。各展示ブースを回って、学会参加証に付いていますスタンプカードに10個のスタンプ(1ブース1スタンプ)を集めると抽選の権利が得られます。是非、参加してください。

景品：金賞2名(かつおたたき)、銀賞2名(フルーツセット) etc

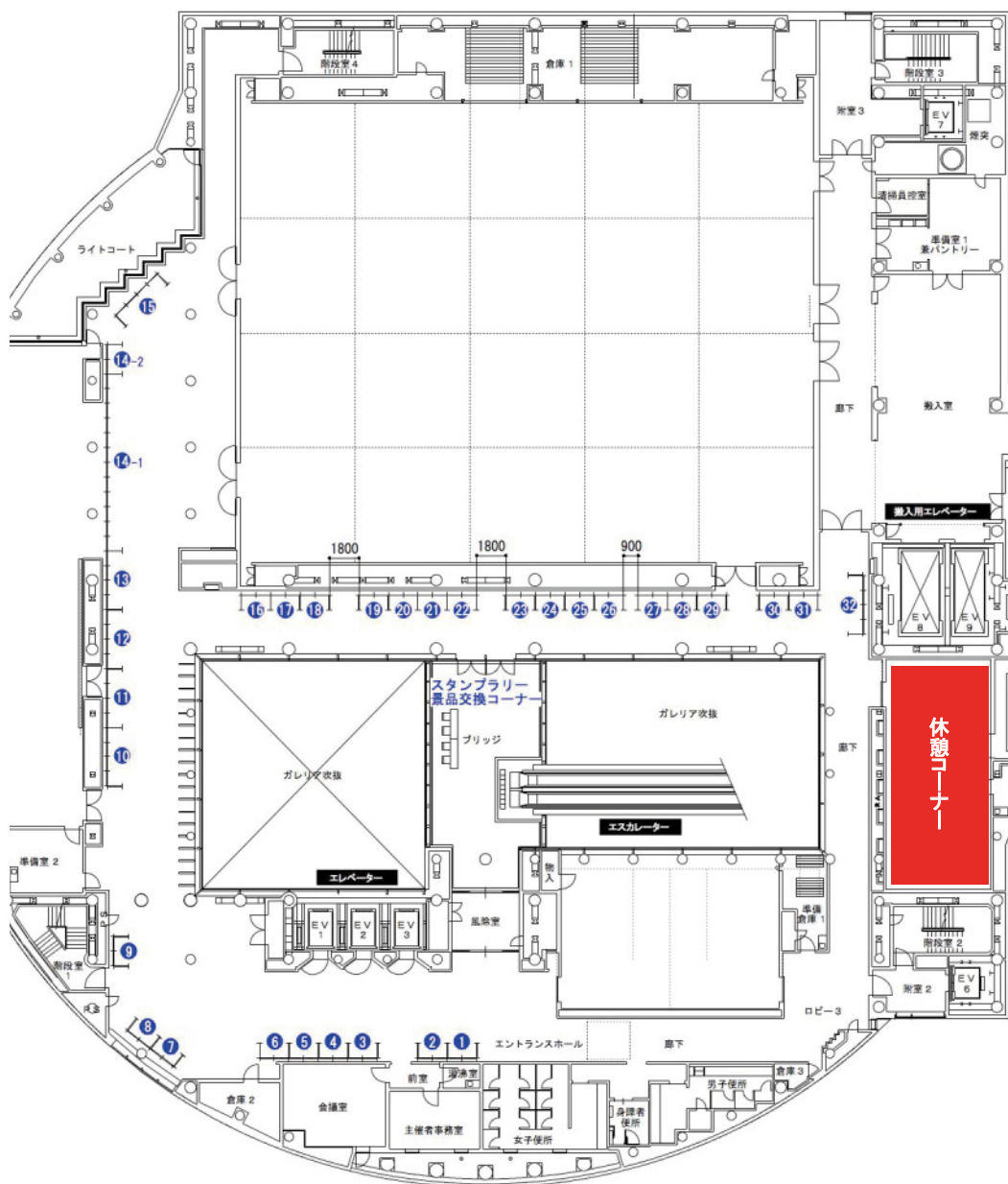
4. スタンプラリー-景品交換所

高知市文化プラザかるぼーと7F ブリッジ (エスカレータであがった所)

5. 展示ブースの配置図

NO.	出 展 企 業 社 名
1	アークレイマーケティング(株)
2	メルク(株)
3	アボットジャパン(株)
4	ヤマサ醤油(株)
5	アイ・エル・ジャパン(株)
6	(株)キューメイ研究所
7	日本電子(株)
8	(株)三和化学研究所
9	ニプロ(株)
10	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス(株)
11	(株)LSIメディエンス
12	積水メディカル(株)
13	(株)テクノメディカ
14-1	シスメックス(株)
14-2	栄研化学(株)
15	(株)エイアンドティー
16	東芝メディカルシステムズ(株)

NO.	出 展 企 業 社 名
17	小林クリエイト(株)
18	メディカルシステム(株)
19	(株)日立ハイテクノロジーズ
20	ラジオメーター(株)
21	(株)ミズホメディー
22	東京貿易メディシス(株)
23	協和メデックス(株)
24	日本光電四国(株)
25	東ソー(株)
26	日水製薬(株)
27	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)
28	富士フィルムメディカル(株)
29	チェスト(株)
30	和光純薬工業(株)
31	(株)イードクトル
32	東洋羽毛中四国販売(株)



中高校生のための職業紹介

ー医療を支える臨床検査技師ってなに？ー

臨床検査技師とは、患者さんの身体の状態を知るため、医師の指示のもとにさまざまな検査を行う仕事です。臨床検査を実施することによって、病気の兆候や体の異変を発見することも求められます。検査結果から病気を早期に発見することにより、医師の治療をサポートします。

参加費 無料

日時

11月26日(土) 13:30~16:00

11月27日(日) 9:30~12:00

※受付10分前に総合受付までお越しください

会場

高知市文化プラザかるぽーと

申し込み
方法

「中高校生のための職業紹介参加希望」と
明記の上、氏名・学校名・同伴者・連絡先・
参加希望日時を記入し、下記連絡先まで
ファクスまたはメールにてお申し込み下さい。

FAX : 088-882-0525

E-mail : Kensa-daiichi@daiichi-hp.jp



医療職に興味がある
方はぜひ参加を!!

内容

臨床検査技師に直接、
話を聞いてみよう!

- ◆ 学会・機器展示場の見学
臨床検査に関する演題発表会場や検査機器展示会場を
ご案内いたします

- ◆ 臨床検査技師養成校の紹介 (8校)
 - ✓ 岡山理科大学
 - ✓ 愛媛県立医療技術大学
 - ✓ 川崎医療短期大学
 - ✓ 香川県立保健医療大学
 - ✓ 広島国際大学
 - ✓ 山陽女子短期大学
 - ✓ 倉敷芸術科学大学
 - ✓ 高知学園短期大学

- ◆ 体験ツアー
模擬採血・エコー体験・顕微鏡による血球観察など
実際の検査の仕事を体験してみよう

- ◆ 臨床検査技師によるプレゼンテーション



みなさまの参加をお待ちしています



もっと詳しく
知りたい方は

○当日は技師会スタッフがご案内いたします

<http://www.e-g.co.jp/jamt49chushi/>

主催: 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 担当: 一般社団法人 高知県臨床検査技師会



学 会
事務局

高知大学医学部附属病院検査部 内
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
TEL: 088-880-2466 FAX: 088-880-2462



日時:平成 28 年 11 月 26 日(土)

18:30~



会場:三翠園



参加費:5000 円

<先着 400 名で打ち止め!>

事前予約特典として懇親会会場までの
移動に便利、無料電車券プレゼント!

~楽しい土佐のおきゃく~
かつおのたたき実演
よさこい踊り、地酒...



高橋氏の三志士が持ちゆげよ
楽しい宴に来てぬいや~



■ 中国四国臨床衛生検査学会・医学検査学会のあゆみ ■

回	開催年月日	開催地	開催県
1	昭和43年10月13日	広島市	広島県
2	昭和44年11月12日	松山市	愛媛県
3	昭和45年10月10日	鳥取市	鳥取県
4	昭和46年11月21日	高知市	高知県
5	昭和47年11月 5日	山口市	山口県
6	昭和48年11月 3日	高松市	香川県
7	昭和49年11月 3日	松江市	島根県
8	昭和50年11月30日	徳島市	徳島県
9	昭和51年10月30日～10月31日	岡山市	岡山県
10	昭和52年 9月24日～ 9月25日	広島市	広島県
11	昭和53年 9月23日～ 9月24日	松山市	愛媛県
12	昭和54年10月 6日～10月 7日	米子市	鳥取県
13	昭和55年 9月23日～ 9月24日	高知市	高知県
14	昭和56年10月24日～10月25日	下関市	山口県
15	昭和57年10月30日～10月31日	丸亀市	香川県
16	昭和58年10月 6日～10月 7日	松江市	島根県
17	昭和59年10月 6日～10月 7日	徳島市	徳島県
18	昭和60年11月 3日～11月 4日	徳島市	岡山県
19	昭和61年11月 1日～11月 2日	広島市	広島県
20	昭和62年10月31日～11月 1日	松山市	愛媛県
21	昭和63年10月 8日～10月 9日	鳥取市	鳥取県
22	平成元年11月 3日～11月 4日	高知市	高知県
23	平成 2年11月10日～11月11日	山口市	山口県
24	平成 3年10月26日～10月27日	香川市	香川県
25	平成 4年11月 7日～11月 8日	松江市	島根県
26	平成 5年 9月25日～ 9月26日	徳島市	徳島県
27	平成 6年10月29日～10月30日	岡山市	岡山県
28	平成 7年10月14日～10月15日	広島市	広島県
29	平成 8年10月12日～10月13日	新居浜市	愛媛県
30	平成 9年10月10日～10月11日	米子市	鳥取県
31	平成10年 9月26日～ 9月27日	高知市	高知県
32	平成11年10月 9日～10月10日	山口市	山口県
33	平成12年10月21日～10月22日	高松市	香川県
34	平成13年 9月29日～ 9月30日	松江市	島根県
35	平成14年 9月28日～ 9月29日	徳島市	徳島県
36	平成15年11月 1日～11月 2日	岡山市	岡山県
37	平成16年11月 6日～11月 7日	広島市	広島県
38	平成17年11月 5日～11月 6日	松山市	愛媛県
39	平成18年11月 3日～11月 4日	鳥取市	鳥取県
40	平成19年10月27日～10月28日	高知市	高知県
41	平成20年11月 1日～11月 2日	下関市	山口県
42	平成21年10月31日～11月 1日	高松市	香川県
43	平成22年11月 6日～11月 7日	松江市	島根県
44	平成23年11月 5日～11月 6日	徳島市	徳島県
45	平成24年11月 3日～11月 4日	岡山市	岡山県
46	平成25年11月 9日～11月10日	広島市	広島県
47	平成26年 9月13日～ 9月14日	松山市	愛媛県
48	平成27年11月 7日～11月 8日	米子市	鳥取県
49	平成28年11月25日～11月26日	高知市	高知県

※第34回より中国四国医学検査学会に改称

※第45回より日臨技中四国支部医学検査学会に改称

■県別演題数■

一般演題

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	静岡県	学生	合計
微生物	2		5	5	4	1	2	6	5			30
免疫血清		1			2		1	6	2			12
血液		1	3	5	3	1	5	8	3		4	33
臨床化学			5	2	2	1	3	3	1		1	12
病理			2						1		1	4
細胞			1	1								2
生理	3	4	7	2	7	4	6	6	9		3	51
一般		1		2	2		1	1	3			10
輸血			2	3	1	1	2	1	1			11
情報システム												0
遺伝子、染色体			1		1						2	4
管理運営												0
教育												1
チーム医療	1		1	2	1				3			8
その他	1	1		2						2		6
総計	7	8	27	24	23	8	20	31	28	2	11	189

特別企画

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	愛媛県	香川県	高知県	徳島県	その他	合計
生理	1	1	1	1	1	1	1	1	3		11
臨床化学・ 免疫血清					1	1		1	1	1	5
血液			1			1	1		1		4
微生物							1			2	3
一般			1					1		1	3
病理・細胞		1		2				1			4
輸血				2			1	1			4
管理運営								1		1	2
チーム医療											0
総計	1	2	3	5	2	3	4	6	5	5	36

■一般演題座長一覧■

11月26日(土)

会 場	部 門	演題番号	発表時間	座長氏名	所属施設名
第1会場	生 理	1 ～ 5	9:00 ～ 9:50	岡本みゆき	博愛病院
		6 ～ 9	9:50 ～ 10:30	鳥居 裕太	徳島大学病院
		10 ～ 12	10:30 ～ 11:00	宮崎 真紀	愛媛大学医学部付属病院
		13 ～ 15	11:00 ～ 11:30	谷本 泰三	香川県立中央病院
第2会場	血 液	52 ～ 55	9:00 ～ 9:40	吉本 裕史	綜合病院山口赤十字病院
		56 ～ 59	9:40 ～ 10:20	松岡 里佳	福山市民病院
		60 ～ 62	10:20 ～ 10:50	高橋 孝英	岡山大学病院
		63 ～ 66	10:50 ～ 11:30	足立絵里加	島根大学医学部附属病院
第3会場	免疫血清	85 ～ 87	9:00 ～ 9:30	石川 容子	独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院
		88 ～ 90	9:30 ～ 10:00	岡山 翼	広島赤十字・原爆病院
		91 ～ 93	10:00 ～ 10:30	藤本 一満	倉敷芸術科学大学
		94 ～ 96	10:30 ～ 11:00	岩田 祐紀	松江赤十字病院
第4会場	一 般	97 ～ 99	9:00 ～ 9:30	保木本文子	鳥取赤十字病院
		100 ～ 102	9:30 ～ 10:00	森田 博	高知赤十字病院
		103 ～ 106	10:00 ～ 10:40	菅 成器	愛媛県立新居浜病院
第5会場	輸 血	107 ～ 108	9:00 ～ 9:20	細川 早織	高松赤十字病院
		109 ～ 111	9:20 ～ 9:50	瀧本 朋美	徳島大学病院
		112 ～ 114	9:50 ～ 10:20	岩崎 清子	済生会下関総合病院
		115 ～ 117	10:20 ～ 10:50	川尻なぎさ	中四国ブロック血液センター
第6会場	病理・細胞・遺伝子	118 ～ 121	9:00 ～ 9:40	森 康浩	倉敷芸術科学大学
		122 ～ 123	9:40 ～ 10:00	長崎 雅幸	島根大学医学部附属病院
		124 ～ 127	10:00 ～ 10:40	下廣 寿	鳥取大学
第9会場	微生物	128 ～ 130	9:00 ～ 9:30	森田 珠恵	高知大学医学部附属病院
		131 ～ 133	9:30 ～ 10:00	村上 忍	愛媛大学医学部付属病院
		134 ～ 136	10:00 ～ 10:30	根ヶ山 清	香川大学医学部付属病院
		137 ～ 139	10:30 ～ 11:00	佐藤 雅美	徳島大学病院
		140 ～ 142	11:00 ～ 11:30	乗安 久晴	済生会山口総合病院

11月27日(日)

会 場	部 門	演題番号	発表時間	座長氏名	所属施設名
第1会場	生 理	16 ～ 19	8:30 ～ 9:10	宮元 祥平	高知医療センター
		20 ～ 23	9:10 ～ 9:50	安岡 佳成	済生会下関総合病院
		24 ～ 27	9:50 ～ 10:30	霜津 宏典	厚生連 廣島総合病院
		28 ～ 30	10:30 ～ 11:00	谷口真由美	川崎医科大学附属病院
		31 ～ 33	11:00 ～ 11:30	公田 幸子	島根県立中央病院
第2会場	血 液	67 ～ 69	8:30 ～ 9:00	山下 典子	鳥取大学医学部附属病院
		70 ～ 72	9:00 ～ 9:30	朝霧 正	高知大学医学部附属病院
		73 ～ 76	9:30 ～ 10:10	星衛 雄樹	愛媛県立中央病院
		77 ～ 80	10:10 ～ 10:50	守屋 雅美	三豊総合病院企業団 三豊総合病院
		81 ～ 84	10:50 ～ 11:30	勢井 伸幸	徳島赤十字病院
第3会場	臨床化学	158 ～ 160	8:30 ～ 9:00	亀山 智代	高知大学医学部附属病院
		161 ～ 163	9:00 ～ 9:30	高橋 志津	松山赤十字病院
		164 ～ 166	9:30 ～ 10:00	井川加奈子	三豊総合病院企業団 三豊総合病院
		167 ～ 169	10:00 ～ 10:30	藤中 敦士	徳島大学病院
		170 ～ 172	10:30 ～ 11:00	今井 佳美	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
		173 ～ 175	11:00 ～ 11:30	室 暢彰	国家公務員共済組合連合会 吉島病院
第4会場	生 理	34 ～ 36	8:30 ～ 9:00	大栗 聖由	鳥取大学
		37 ～ 40	9:00 ～ 9:40	包国 由子	高知大学医学部附属病院
		41 ～ 43	9:40 ～ 10:10	小林 知子	愛媛県立中央病院
		44 ～ 46	10:10 ～ 10:40	横内美和子	K K R 高松病院
		47 ～ 51	10:40 ～ 11:30	平田有紀奈	徳島大学病院
第5会場	日臨技企画Ⅱ	184 ～ 189	9:45 ～ 11:15	丸田 秀夫	病棟業務推進施設情報連絡協議会
第6会場	情報・チーム医療	176 ～ 177	8:30 ～ 8:50	小田 昌弘	総合病院 岡山赤十字病院
		178 ～ 180	8:50 ～ 9:20	青戸 正樹	松江赤十字病院
		181 ～ 183	9:20 ～ 9:50	山本 里絵	国民健康保険智頭病院
第9会場	微生物	143 ～ 146	8:30 ～ 9:10	梅本 千佳	福山市民病院
		147 ～ 150	9:10 ～ 9:50	黒瀬多規子	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
		151 ～ 154	9:50 ～ 10:30	平井 由紀	松江市立病院
		155 ～ 157	10:30 ～ 11:00	森下 奨太	鳥取大学医学部附属病院

■特別講演・会長講演・教育講演一覧■

特別講演

会 場	日 時	テーマ／講演者	司 会
第1会場	11月26日(土) 13:00～14:00	「生き方雑記帳 2016」 山本 一力(小説家)	小倉 克巳 (高知大学医学部附属病院)

学会長講演

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第1会場	11月26日(土) 14:10～15:10	「臨床検査の自動化に挑んだ30数年」 ～碎考・再構は最高か？～ 小倉 克巳(高知大学医学部附属病院)	大宮 雅人 (近森病院 SRL 検査室)

教育講演Ⅰ

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第1会場	11月26日(土) 15:20～16:20	「小腸内視鏡と技師の役割」 阿部 孝(宝塚市立病院)	岡田 由香里 (高知医療センター)

教育講演Ⅱ

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第1会場	11月26日(土) 16:30～17:30	「遺伝性疾患に対する新規治療戦略と 近未来の遺伝子医療」 奥宮 敏可(熊本大学)	谷内 亮水 (高知医療センター)

■シンポジウム一覧■

シンポジウムⅠ. 生理部門

会 場	日 時	テーマ／講演者	司 会
第1会場	11月27日(日) 13:00～15:00	プロに学べ！ 次の一手 ～病態からみる生理検査～ 「1. 腹部超音波」 高須賀 康宣(愛媛大学医学部附属病院) 「2. 心臓超音波」 西尾 進(徳島大学病院) 「3. 心電図」 泉 礼司(倉敷芸術科学大学) 「4. 神経生理」 佐藤 研吾(鳥取大学) 「5. 血管検査」 宇野 誓子(島根大学医学部附属病院)	渡邊 亮司 (済生会今治病院) 平川 大梧 (高知大学医学部附属病院)

シンポジウムⅡ. 管理運営部門

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第2会場	11月27日(日) 13:00～15:00	災害時に向けた検査室運営 「1. (一社)和歌山県臨床検査技師会における 大規模災害時対策について」 玉置 達紀(紀南病院) 「2. 病院の災害対応と臨床検査部の役割」 長野 修(高知大学)	大宮 雅人 (近森病院 SRL 検査室)

シンポジウムⅢ. 臨床化学・免疫血清部門

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第3会場	11月27日(日) 13:00～15:00	最高のシステム構築を求めて ～生化学・免疫分析装置の特性について知る～ 「1. 日立ハイテク/ロジーズ シリーズ」 三好 雅士(徳島大学病院) 「2. JEOL 日本電子 シリーズ」 室谷 里見(山口県総合医療センター) 「3. 東芝メディカルシステムズ シリーズ」 栗下 一義(高知赤十字病院) 「4. ロシュ・ダイアグノスティクス シリーズ」 赤松 金平(宇和島市立津島病院) 「5. ベックマン・コールター シリーズ」 吉岡 秀樹(関西医科大学大学附属病院)	岡田 健 (岡山大学病院) 西宮 達也 (愛媛大学病院)

シンポジウムⅣ. 一般部門

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第4会場	11月27日(日) 13:00～15:00	AKIを再考する！ 「1. AKIと腎泌尿器生理」 中川 裕美(倉敷リバーサイド病院) 「2. 急性腎障害における 新規バイオマーカーNGALの意義」 青木 和雄(アボットジャパン株式会社) 「3. AKIの診断・治療」 廣田 誠二(高知赤十字病院)	富永 美香 (山口大学医学部附属病院) 諏訪 敦彦 (法務省矯正局高松刑務所)

シンポジウムⅤ. 輸血部門

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第5会場	11月27日(日) 13:00～15:00	輸血部門におけるチーム医療 ～患者中心の輸血医療を目指して～ 「1. 輸血におけるチーム医療って何だろう？」 ～検査室の役割・麻酔科の役割～ 畠中 豊人(社会医療法人仁生会細木病院) 「2. 院内および広島県合同輸血療法委員会から」 荒谷 千登美(呉共済病院) 「3. 血液内科との関わり...検査部として」 徳住 美鈴(高松赤十字病院) 「4. 輸血関連依頼検査について」 森 唯(日本赤十字社中四国ブロック血液センター)	宇都宮 佳代 (市立宇和島病院) 西 満子 (高知大学医学部附属病院)

シンポジウムⅥ. 病理細胞部門

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第6会場	11月27日(日) 13:00～15:00	病理検査で診る感染症 ～病原体の世界を覗く～ 基調講演「病理学と感染症」 村上 一郎(高知大学) 「1. 呼吸器感染症の病理検体」 荒木 剛(島根大学医学部附属病院) 「2. 尿路における腫瘍と感染症」 有安 早苗(国立病院機構福山医療センター) 「3. 液状細胞材料を用いた 子宮頸部扁平上皮内病変関連マーカーの有用性」 石田 克成(広島大学病院)	中村 寿治 (高知県立幡多けんみん病院) 長町 健一 (高松赤十字病院)

シンポジウムⅦ. 微生物部門

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第9会場	11月27日(日) 13:00～15:00	感染症検査の一専心・一新・維新 「1. 古くて新しい感染症検査 ～Gram染色でここまでできる～」 山本 剛(西神戸医療センター) 「2. 感染管理の現実 ～感染症検査は感染管理に役立っているのか?～」 青木 洋二(KKR 高松病院) 「3. 感染症検査の将来展望 ～質量分析装置は黒船か?～」 大楠 清文(東京医科大学)	樫山 誠也 (済生会広島病院) 西村 恵子 (NHO 四国こどもとおとなの医療センター)

■特別企画一覧■

特別企画Ⅰ ライブレクチャー

会 場	日 時	テーマ／講演者	司 会
第7会場	11月26日(土) 9:00～11:30	初歩から学ぶ！神経生理 「1. 神経伝導検査(下肢)」 横内 美和子(KKR 高松病院) 「2. 神経伝導検査(上肢)」 吉永 由菜(高知大学医学部附属病院) 「3. 神経超音波」 高松 直子(徳島大学)	高野 静香 (高知赤十字病院) 櫻井 理世 (広島市立リハビリテーション 病院)

特別企画Ⅱ ライブレクチャー

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第7会場	11月26日(土) 14:30～17:00	超音波検査で見落としを無くすコツ 「1. 頸動脈超音波」 永井 仁志(山口県立総合医療センター) 「2. 心臓超音波」 豊田 一宏(JA 尾道総合病院) 「3. 腹部超音波」 山尾 雅美(徳島大学病院)	島崎 睦 (高知大学医学部附属病院) 山村 展央 (市立八幡浜総合病院)

特別企画Ⅲ スライドカンファレンス

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第7会場	11月27日(日) 8:45～11:00	形態検査を再考する ～どこまで診断に寄与できるか～ コメンテーター:池添 隆之(福島県立医科大学) 「1. 症例解説1」 井上千尋(徳島大学病院) 「2. 症例解説2」 樋口 美奈(倉敷中央病院) 「3. 症例解説3」 竹内 彰浩(香川大学医学部附属病院) 「4. 症例解説4」 新家 敏之(愛媛大学医学部附属病院)	山岡 源治 (愛媛県立医療技術大学) 根来 利次 (高知医療センター)

■特別企画・日臨技企画一覧■

日臨技企画Ⅰ 術中モニタリング

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第5会場	11月27日(日) 8:30～9:30	術中モニタリングの基礎技術 丸田 雄一(山口大学)	井上 伸一 (津山中央病院)

日臨技企画Ⅱ ミニシンポジウム

会場	日時	テーマ／講演者	司会
第5会場	11月27日(日) 9:45～11:15	ミニシンポジウム「病棟業務」 MS-1(184)「聖隷浜松病院における 臨床検査技師の病棟業務に関する試み①」 ・検査部門管理者の対応と対象選定について 直田 健太郎(聖隷浜松病院) MS-2(185)「聖隷浜松病院における 臨床検査技師の病棟業務に関する試み②」 ・実経験からわかる病棟検査技師の役割について 直田 健太郎(聖隷浜松病院) MS-3(186)「当院における臨床検査技師の 病棟業務に関する試み」 ・新しい業務「皮膚・表在組織検体採取」開始への 取り組み 齊藤 香織(社会医療法人 千秋会 井野口病院) MS-4(187)「病棟での検査物品管理業務について」 浜村 寛(出雲医療生活協同組合 出雲市民病院) MS-5(188)「業務拡大に伴う人員補助の調整について」 樫山 誠也(済生会 広島病院) MS-6(189)「臨床検査技師としての、 病棟における糖尿病ケアへの取り組み」 伊佐田 耕人(鳥取県済生会 境港総合病院)	丸田 秀夫 (病棟業務推進施設 情報連絡協議会)

■ランチョンセミナー(1)■

11月26日(土) 11:45～12:45

ランチョンセミナー1 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第1会場	臨床検査技師に知ってもらいたい甲状腺疾患の話 伊藤 公一(伊藤病院 院長)	岩崎 泰正 (高知大学教育研究部 医療学系 臨床医学部門 教授)

ランチョンセミナー2 シスメックス株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第2会場	血液凝固検査 UPDATE 北島 勲(富山大学医学部 医学部長兼 富山大学大学院医学薬学研究部 臨床分子病態検査医学 教授)	朝霧 正(高知大学医学部附属病院 検査部副技師長)

ランチョンセミナー3 エーディア株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第3会場	ウイルスから生活習慣病へ 変化する肝疾患の現状 西原 利治(高知大学医学部消化器内科学 教授)	西宮 達也(愛媛大学医学部附属病院 診療支援部)

ランチョンセミナー4 アボット ジャパン株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第4会場	HIV 感染症の現状 ～試薬発売 30 周年を迎えて～ 中島 俊彦(アボット ジャパン株式会社 学術情報室 学術顧問)	アボット ジャパン株式会社

ランチョンセミナー5 株式会社テクノメディカ

会場	テーマ／講演者	司会
第5会場	ユーザーの要望に応えた採血管準備システムへ 中野 靖(株式会社テクノメディカ 医療ソリューション開発部 部長)	小倉 克巳(高知大学医学部附属病院 検査部 技師長)

ランチョンセミナー6 セラビジョン・ジャパン株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第6会場	セラビジョン DM シリーズの効率的運用と形態鑑別教育への取り組み 須永 良(国立病院機構 東京医療センター LSI メディエンス検査室)	松本 耕一(セラビジョン・ジャパン株式会社 代表取締役社長)

ランチョンセミナー7 富士レビオ株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第7会場	HBVユニバーサルワクチネーションの重要性、現状と今後の展望について 須磨崎 亮(筑波大学大学院人間総合科学研究科 医学医療系・小児科)	木村 泰治(社会福祉法人恩賜財団済生会支部 岡山済生会総合病院 中央検査科 技師長)

ランチョンセミナー8 極東製薬工業株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第8会場	一歩手前の感染制御を目指して ～薬剤耐性菌対策のキーパーソンは誰？～ 根ヶ山 清((国立大学法人 香川大学医学部附属病院 検査部 感染症検査室 副技師長)	永禮 旬(極東製薬工業株式会社 営業統括部門 顧問)

■ランチオンセミナー(2)■

11月27日(日)11:45～12:45

ランチオンセミナー9 フクダ電子四国販売株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第1会場	頻拍性不整脈の高周波カテーテルアブレーション治療 深谷 眞彦(近森病院 循環器部長)	松村 敬久(高知大学医学部附属病院 検査部長)

ランチオンセミナー10 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第2会場	クイズで確認！診療報酬・業界の動き・医療行政 松尾 久昭(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 営業企画部)	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

ランチオンセミナー11 株式会社LSIメディエンス

会場	テーマ／講演者	司会
第3会場	血液凝固検査値は何かを語る～血液疾患における凝固線溶検査結果の読み方と治療 池添 隆之(公立大学法人福島県立医科大学医学部血液内科学講座 教授)	中尾 隆之(徳島大学病院診療支援部・副部長検査部・臨床検査技師長)

ランチオンセミナー12 栄研化学株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第4会場	尿検査を再考する 小松 豊(高知大学医学部附属病院 検査部 副技師長)	諏訪 敦彦(法務省 矯正局 高松刑務所 医務部 保健課)

ランチオンセミナー13 株式会社ミズホメディー

会場	テーマ／講演者	司会
第5会場	マイコプラズマ感染症診断におけるイムノクロマト法の有用性と限界 ～銀増幅原理を用いた高感度マイコプラズマ抗原検査法～ 藤井 寛之(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院臨床検査技術部)	宮本 仁志(愛媛大学医学部付属病院 検査部)

ランチオンセミナー14 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第6会場	肺高血圧症の病態と心エコー検査による早期診断 西尾 進(徳島大学病院 超音波センター 主任)	平川 大悟(高知大学医学部附属病院 検査部)

ランチオンセミナー15 メルク株式会社

会場	テーマ／講演者	司会
第7会場	検査結果を護る新しい純水装置がもたらすメリット 金沢 旬宣(メルク株式会社)	藤田 望 (阿波病院 検査部)

■ 一般演題 ■

一般演題(1日目) 【第1会場:生理】 11月26日(土) <9:00~11:30>

<9:00-9:50>

座長:岡本 みゆき (博愛病院)

番号	演題名	演者
1	右冠動脈起始部急性心筋梗塞における導出誘導 V4R の有用性	甲斐 遥華
2	ホルター心電図迅速解析にて torsade de pointes(TdP)を早期発見しえた 1 症例	青木 駿
3	標準 12 誘導法と Frank 誘導法による LP 検査結果の比較検討	東條 真依
4	生理検査における患者情報の有用性 ～心アミロイドーシスを疑い得た一症例から～	藤本 正和
5	当院における心肺運動負荷試験のプロトコールの検討	杉原 辰哉

<9:50-10:30>

座長:鳥居 裕太 (徳島大学病院)

番号	演題名	演者
6	心電図胸部誘導 V1 の P-terminal force と経胸壁心エコー図の左房関連所見との比較検討	遠藤 竜也
7	TMAD・TTAD を用いた心機能評価の有用性	筒井 貴弘
8	PTSMA(経皮的中等心筋焼灼術)における臨床検査技師の役割	伊藤 大佑
9	心房中隔欠損症の治療至適時期の検討	土橋 沙織

<10:30-11:00>

座長:宮崎 真紀 (愛媛大学医学部付属病院)

番号	演題名	演者
10	原発性心アミロイドーシスの一例	眞鍋 泰毅
11	安静時心エコー検査のみでは肺高血圧の診断が困難であった一例	鈴川 理乃
12	門脈肺高血圧症が疑われた一例	生駒 久美子

<11:00-11:30>

座長:谷本 泰三 (香川県立中央病院)

番号	演題名	演者
13	脳梗塞を契機に発見された左房粘液腫の一例	竹石 亜矢
14	機能的三尖弁狭窄症を呈した悪性リンパ腫の一例	上岡 千夏
15	経胸壁心エコー図検査にて原発性肺癌の心筋転移を指摘した1例	金海 奈奈

一般演題(2日目) 【第1会場:生理】 11月27日(日) <8:30~11:30>

<8:30-9:10>

座長:宮元 祥平 (高知医療センター)

番号	演題名	演者
16	下肢動脈エコーが契機となり遺残坐骨動脈の閉塞を発見した一例	成田 大剛
17	自己血管内シャントにおける上腕動脈血流評価の検討	丸山 真智子
18	経皮的冠動脈形成術患者に対する動脈狭窄スクリーニング実施の試みと有用性の評価	田邊 啓介
19	側頭動脈に炎症性変化を認めた顕微鏡的血管炎の1例	鳥居 裕太

<9:10-9:50>

座長:安岡 佳成 (済生会下関総合病院)

番号	演題名	演者
20	侵襲性副鼻腔真菌症により右内頸動脈閉塞をきたした1例	久保 遥
21	頸動脈エコーとMRI:Black Blood 法による頸動脈プラーク性状の比較検討	宮元 祥平
22	エコー検査を契機に発見された頸動脈ステント短縮の1症例	山本 聖子
23	脳心血管イベント予測における頸動脈内膜中膜複合体厚の計測部位の検討	村川 佳子

<9:50-10:30>

座長:霜津 宏典 (厚生連 広島総合病院)

番号	演題名	演者
24	上腸間膜静脈瘤からの消化管出血を来した1例	平田 有紀奈
25	当院で経験した Trousseau 症候群の一例	藤山 香
26	妊娠後期に発症した下肢深部静脈血栓症の一例	谷本 泰三
27	下大静脈内腫瘍との鑑別に苦慮した一例	上田 彩未

<10:30-11:00>

座長:谷口 真由美 (川崎医科大学附属病院)

番号	演題名	演者
28	C型慢性肝疾患に対する Real-time Tissue Elastography	松尾 垂矢
29	Fontan 手術後患者における肝合併症評価	川村 道代
30	浮腫性胆嚢壁肥厚を契機に発見された急性心筋炎の2症例	松下 健一

<11:00-11:30>

座長:公田 幸子 (島根県立中央病院)

番号	演題名	演者
31	急性胆嚢炎における超音波像の検討	長田 剛
32	直腸癌術後異時性臓転移の一例	奥田 安範
33	腎盂腫瘍との鑑別が困難であった大腸癌・尿管浸潤の一例	青地 千亜紀

一般演題(2日目) 【第4会場:生理】 11月27日(日) <8:30~11:30>

<8:30-9:00>

座長:大栗 聖由 (鳥取大学)

番号	演題名	演者
34	頭蓋内病変を伴わない NF-1 に合併した難治性てんかんの一症例	藤村 梢
35	脳波検査が治療効果判定に有用であった再発性多発軟骨炎の 1 例	松下 はるな
36	副甲状腺機能低下症による低 Ca 血症に起因した強直発作を生じたてんかんの一症例	鉄田 有希乃

<9:00-9:40>

座長:包国 由子 (高知大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
37	他覚的聴力検査としての聴性定常反応の有用性	大田 勇
38	当院における術中モニタリングの取り組み	片寄 志保
39	当院での術中神経機能モニタリングの初期導入について	山中 絵美
40	事象関連電位の全脳的な評価法について	近澤 佑季

<9:40-10:10>

座長:小林 知子 (愛媛県立中央病院)

番号	演題名	演者
41	エンテロウイルス D68 型感染による急性弛緩性脊髄炎の一症例	西森 由加里
42	横隔神経伝導検査による呼吸筋の評価を行ったボンベ病の男児例	島林 健太
43	L5 神経根症における浅腓骨神経感覚神経活動電位の検討	宮本 直樹

<10:10-10:40>

座長:横内 美和子 (KKR高松病院)

番号	演題名	演者
44	食事内容による血液循環動態変化の検討	橋田 茉歩
45	当院における「超音波検査シミュレータ」を用いた教育研修の現状	西川 瑞稀
46	医用超音波の安全性について	三浦 八千代

<10:40-11:30>

座長:平田 有紀奈 (徳島大学病院)

番号	演題名	演者
47	乳癌に対するソナゾイド造影超音波検査の広がり診断の検討	榎 美奈
48	乳腺筋線維芽細胞腫の一例	小田 一美
49	非手術経過観察を行った甲状腺乳頭癌の超音波像の検討	黒木 梨沙
50	原発性副甲状腺機能亢進症における病的副甲状腺の超音波画像	吉本 理紗
51	抗 CCP 抗体陽性者における関節エコーの有用性	高野 英樹

一般演題(1日目) 【第2会場:血液】 11月26日(土) <9:00~11:30>

<9:00-9:40>

座長:吉本 裕史 (綜合病院山口赤十字病院)

番号	演題名	演者
52	慢性好中球性白血病(Chronic neutrophilic leukemia:CNL)の一症例	浅田 知世
53	CML の分子遺伝学的寛解期に血小板増多を認め、JAK2V617F 変異が検出された 1 例	青江 伯規
54	赤血球形態・Fe染色・鉄代謝を用いたACD、low grade MDSの鑑別	西山 翔
55	好中球系の異形成(偽Pelger)が主のMDS-RCMDの1症例	平野 香織

<9:40-10:20>

座長:松岡 里佳 (福山市民病院)

番号	演題名	演者
56	急性混合性白血病, T / 骨髄性形質の一例	渡邊 智子
57	当院で経験した AML:t(6;9)(p23;q34)の1例	杉原 崇大
58	非定型 RARA 遺伝子転座を有する急性白血病の一症例	加藤 朱莉
59	当院で経験した急性前骨髄性白血病 20 症例の検討	清家 康子

<10:20-10:50>

座長:高橋 孝英 (岡山大学病院)

番号	演題名	演者
60	AIHA を併発した CLL の一例	玉置 南
61	多項目自動血球分析装置が契機となり発見された low grade B-cell lymphoma の 1 症例	國廣 まり
62	FCM により骨髄への微小浸潤を検出し得た BPDCN の一例	近藤 明宏

<10:50-11:30>

座長:足立 絵里加 (島根大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
63	Hairy cell leukemia(HCL)の1症例	杉本 圭輔
64	Splenic lymphoma with lymphocytes(SLVL)の1症例	寺内 翔
65	好酸球増多を伴った多発性骨髄腫の一例	中村 友紀子
66	二峰性(IgG-κ, IgA-κ)M 蛋白と BJP-κ 型 M 蛋白を認めた多発性骨髄腫の一症例	星衛 雄樹

一般演題(2日目) 【第2会場:血液】 11月27日(日) <8:30~11:30>

<8:30-9:00>

座長:山下 典子 (鳥取大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
67	診断に苦慮した発作性寒冷ヘモグロビン尿症の一例	小池 智弥
68	治療に導いた非典型巨大芽球性貧血の一例	杉本 美香
69	鉄剤投与で軽度肝障害を呈し一過性のハプトグロビンの低下を認めた鉄欠乏性貧血の1例	渡部 貴

<9:00-9:30>

座長:朝霧 正 (高知大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
70	出生時の有核赤血球数(nRBCs)について	永田 啓代
71	自動血球分析装置2機種における幼若網赤血球分画の評価	井上 雄介
72	当院における重症熱性血小板減少症候群例の検査データからみた予後判定評価	伊藤 大希

<9:30-10:10>

座長:星衛 雄樹 (愛媛県立中央病院)

番号	演題名	演者
73	凝固検体の保存性と血漿中残存血小板数に関する検討	河村 真美
74	リラスオートP-FDP/リラスオート・DダイマーネオのCP3000への適用評価	木内 洋之
75	CS-2500におけるファクターオートP-FDP、Dダイマー試薬の基礎的検討	大下 時廣
76	ファクターオートP-FDP・Dダイマー試薬の性能評価 DICの病態との関連	岡崎 亮太

<10:10-10:50>

座長:守屋 雅美 (三豊総合病院企業団 三豊総合病院)

番号	演題名	演者
77	川崎病を契機に発見された先天性第XI因子欠乏症の一例	藤井 亜希子
78	原因不明の一過性後天性第X因子欠乏症の一例	山下 由起
79	PAI-1 遺伝子多型と線維素溶解活性の関連	武田 芽生
80	抗リン脂質抗体による活性化プロテインC系凝固制御機構の阻害作用	金重 里沙

<10:50-11:30>

座長:勢井 伸幸 (徳島赤十字病院)

番号	演題名	演者
81	全血法フローサイトメトリーによる活性化血小板及び活性化血小板-単球複合体定量法	我毛 美鈴
82	磁気ビーズ標識抗CD61抗体を用いた血小板由来マイクロバディクル測定ELISA法の開発	下本 和輝
83	CSシリーズの血小板凝集能で抗血小板薬の薬効評価は可能か	木村 充
84	全自動血液凝固測定装置での血小板凝集能検査	黒瀬 美枝

一般演題(1日目) 【第3会場:免疫血清】 11月26日(土) <9:00~11:00>

<9:00-9:30>

座長:石川 容子 (独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院)

番号	演題名	演者
85	アーキテクト・PIVKA-IIの基礎的検討	井上 智子
86	採血管種が与える PIVKA II への影響	西川 佳香
87	4 機種における PIVKA-II 測定試薬の比較検討	尾方 真帆

<9:30-10:00>

座長:岡山 翼 (広島赤十字・原爆病院)

番号	演題名	演者
88	肝線維化マーカーM2BPGi 測定試薬「HISCL M2BPGi 試薬」の基礎的検討	森本 麻里
89	肝細胞癌の発癌予測マーカーとしての M2BPGi の有用性	小澤 香野
90	3 種の抗 SS-A 抗体測定試薬の基礎的検討	谷口 裕美

<10:00-10:30>

座長:藤本 一満 (倉敷芸術科学大学)

番号	演題名	演者
91	全自動臨床検査システム STACIA による「ステイシア CLEIA IL-2R」試薬の基本性能評価	山田 真以
92	エクレーシス試薬 Anti-TP の基礎的検討	西山 記子
93	アラスタット IgE II の基礎的検討	岡本 愛

<10:30-11:00>

座長:岩田 祐紀 (松江赤十字病院)

番号	演題名	演者
94	当院におけるプレセプシンとプロカルシトニンの有用性について	久保 由菜
95	複数項目において非特異反応を示した一例	吉田 有里
96	脳脊髄液中の IgA と IgM の動態調査	西岡 光昭

一般演題(1日目) 【第4会場:一般】 11月26日(土) <9:00~10:40>

<9:00-9:30>

座長:保木本 文子 (鳥取赤十字病院)

番号	演題名	演者
97	尿沈渣における酸性尿酸アンモニウム結晶の出現意義	八木 綾子
98	当院で経験した古典型 Fabry 病の 1 症例について	松本 雄貴
99	尿沈渣中に出現した異型細胞の組織型判定に苦渋した S 状結腸癌の 1 症例	能宗 千帆

<9:30-10:00>

座長:森田 博 (高知赤十字病院)

番号	演題名	演者
100	尿沈渣赤血球形態のブランチ内判定統一に向けた取り組み	高橋 佳代
101	当院でのシステム更新に伴う尿検査の運用変更	南 文香
102	尿沈渣目視判定基準の基礎的検討	藤井 咲江

<10:00-10:40>

座長:菅 成器 (愛媛県立新居浜病院)

番号	演題名	演者
103	トリエージ DOA で TCA 偽陽性となった悪性症候群の小児例	永田 啓代
104	気管支鏡・胸水にて診断されたウェステルマン肺吸虫症の 1 例	柿木 良三
105	早朝尿を用いた小学生の塩分摂取量測定の試み～食育支援を目的とした活動報告～	森澤 美恵
106	当院の AIH における精液処理法の変遷と精液所見の比較	石田 久人

一般演題(1日目) 【第5会場:輸血】 11月26日(土) <9:00~10:50>

<9:00-9:20>

座長:細川 早織 (高松赤十字病院)

番号	演題名	演者
107	輸血副作用入力システムの改善による報告件数の増加	石本 倫子
108	輸血後感染症検査にて HIV-1p24 抗原が一過性に偽陽性反応を呈した症例	永井 智美

<9:20-9:50>

座長:瀧本 朋美 (徳島大学病院)

番号	演題名	演者
109	術前検査で抗 Di ^b と抗 Jk ^b を検出した一例	中村 友里
110	RhD 陰性の初妊婦が抗 Jra を保有した症例	正木 里奈
111	全自動輸血検査装置 AutoVue と IH-1000 を用いた不規則抗体検査における比較検討	藤原 大也

<9:50-10:20>

座長:岩崎 清子 (済生会下関総合病院)

番号	演題名	演者
112	部分凝集がみられる新生児の血液型判定について	平岡 希実子
113	血漿交換療法により貧血の改善を認めた ABO 血液型 minor mismatch 生体腎移植の一症例	實近 理那
114	部分凝集の原因がキメラと考えられた一例	中山 理恵

<10:20-10:50>

座長:川尻 なぎさ (中四国ブロック血液センター)

番号	演題名	演者
115	潜在的な寒冷凝集反応を呈する患者への取り組み	荒木 康晴
116	産科大量輸血症例における輸血使用量と対応策	瀧本 朋美
117	daratumumab の間接抗グロブリン試験偽陽性反応とその対応策	土手内 靖

一般演題(1日目) 【第6会場:病理・細胞・遺伝子】 11月26日(土) <9:00~10:40>

<9:00-9:40>

座長:森 康浩 (倉敷芸術科学大学)

番号	演題名	演者
118	当研究所における潰瘍性大腸炎の出件数と分類状況	近藤 祐生
119	腹膜播種で発見された左卵管高異型度漿液性腺癌の一例	大内 咲江
120	病理組織標本における封入剤と保存方法別退色の検討	山本 愛奈
121	悪性腫瘍における腫瘍随伴マクロファージの役割	中井 望帆

<9:40-10:00>

座長:長崎 雅幸 (島根大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
122	当研究所における泌尿器細胞診にみられた異型細胞の細胞学的検討について	岡本 哲夫
123	甲状腺低分化癌(低分化成分を含む甲状腺癌)の細胞学的特徴の検討	池田 征幸

<10:00-10:40>

座長:下廣 寿 (鳥取大学)

番号	演題名	演者
124	当院で経験したt(8;21)(q22;q22)の付加染色体を中心とした検討	高原 里枝
125	自動核酸抽出装置 MagNA Pure Compact を用いた FFPE、糞便、血清からの DNA 抽出の検討	林 さゆり
126	キヌレニン-3-モノオキシゲナーゼ遺伝子変異解析の基礎的検討	松浦 友香
127	hs-CRPの生活習慣病マーカーとしての有用性の検討	森木 美里

一般演題(1日目) 【第9会場:微生物】 11月26日(土) <9:00~11:30>

<9:00-930>

座長:森田 珠恵 (高知大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
128	当院で検出されたカルバペネム耐性腸内細菌(CRE)の3事例	古川 佐和
129	Carbapenem Inactivation Methodを用いた カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の検出	福岡 史奈
130	2011~2015年岡山県多施設におけるMRSA, MDRP およびESBLs産生菌の分離調査	三好 正恵

<9:30-10:00>

座長:村上 忍 (愛媛大学医学部付属病院)

番号	演題名	演者
131	clindamycin 誘導耐性試験の有用性の検討	宮本 直樹
132	島根県におけるNugent scoreの施設間差について	瀬田 比呂志
133	当院で検出された糞便由来大腸菌における血清型と病原遺伝子との関連性	上岡 彩椰

<10:00-10:30>

座長:根ヶ山 清 (香川大学医学部付属病院)

番号	演題名	演者
134	MRSA 分子疫学解析の POT 法導入への取り組み	香川 葉子
135	PCR-based ORF Typing (POT)法を用いた MRSA 院内感染対策の検討	河野 允信
136	MRSA スクリーニング培地の検討	三宅 祐江

<10:30-11:00>

座長:佐藤 雅美 (徳島大学病院)

番号	演題名	演者
137	多発関節痛と全身性発疹を呈した <i>Capnocytophaga canimorsus</i> 敗血症の1例	渡辺 美絵
138	<i>Shewanella algae</i> による敗血症の一例	田平 未希子
139	血液寒天培地より <i>Mycobacterium abscessus</i> を分離した2症例	藤川 栄吏

<11:00-11:30>

座長:乗安 久晴 (済生会山口総合病院)

番号	演題名	演者
140	<i>Neisseria meningitidis</i> による肺化膿症の一例	津守 美苑
141	尿から <i>Neisseria meningitidis</i> が検出された1症例	村上 悦子
142	帝王切開術後に発症した <i>Mycoplasma hominis</i> による骨盤内膿瘍の1例	長谷部 淳

一般演題(2日目) 【第9会場:微生物】 11月27日(日) <8:30~11:00>

<8:30-9:10>

座長:梅本 千佳 (福山市民病院)

番号	演題名	演者
143	血液培養から分離された <i>Aeromonas</i> 属、 <i>Vibrio</i> 属の臨床的検討	高橋 諭
144	血液培養採取時の皮膚消毒薬変更による汚染率・汚染菌の変化	西山 政孝
145	MALDI Biotyper を用いた血液培養陽性ボトルからの直接菌種同定に関する検討	寺岡 千織
146	MALDI-TOF MS を用いた血液培養迅速同定について	藤森 巧

<9:10-9:50>

座長:黒瀬 多規子 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院)

番号	演題名	演者
147	当院におけるバンコマイシン耐性腸球菌検出時の対応	高野 律子
148	当院で経験したジフテリア症疑似患者の対応について	徳永 裕介
149	当院で発生した無荚膜型インフルエンザによるアウトブレイク事例	中山 奈津季
150	当院における <i>Mycoplasma hominis</i> の分離状況および ICT 活動	村上 忍

<9:50-10:30>

座長:平井 由紀 (松江市立病院)

番号	演題名	演者
151	皮膚科材料より分離された黒色真菌の 4 例について	西村 恵子
152	当院における過去5年間のカンジダ属の分離状況と薬剤感受性について	角濱 智子
153	当院における過去 7 年間の血液由来 <i>Candida</i> 属の検出状況と薬剤感受性について	高岡 俊介
154	左慢性中耳炎患者より <i>Stephanosascus ciferrii</i> を検出した 1 症例	村田 宏貴

<10:30-11:00>

座長:森下 奨太 (鳥取大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
155	確定診断に難渋した <i>Helicobacter cinaedi</i> による感染性大動脈瘤の 1 例	谷松 智子
156	<i>Streptococcus agalactiae</i> (GBS)による化膿性心膜炎の一例	齋藤 未来
157	肝膿瘍より <i>Actinomyces israelii</i> を分離した 1 例	大村 和廣

一般演題(2日目) 【第3会場:臨床化学】 11月27日(日) <8:30~11:30>

<8:30-9:00>

座長: 亀山 智代 (高知大学医学部附属病院)

番号	演題名	演者
158	HbA1c 測定によって一酸化炭素中毒を診断し得た1例	宮川 愛里
159	健康診断受診者 65 歳から 70 歳までの推算糸球体濾過量 (eGFR) の推移	古川 聡子
160	右冠動脈起始部狭窄起因急性心筋梗塞における血栓吸引と血清 CK 動態の関連	山下 理沙子

<9:00-9:30>

座長: 高橋 志津 (松山赤十字病院)

番号	演題名	演者
161	尿中 L-FABP 測定試薬ルミバルス L-FABP の基礎検討と糖尿病性腎症における有用性について	片倉 有希
162	L 型脂肪酸結合蛋白測定試薬《ノルディア L-FABP》の有用性について	田中 幸栄
163	慢性腎臓病における尿中 L-FABP 測定の有用性の検討	神岡 良助

<9:30-10:00>

座長: 井川 加奈子 (三豊総合病院企業団 三豊総合病院)

番号	演題名	演者
164	ICG 試験において異常高値を呈した 1 症例	薬師寺 孝徳
165	C 型慢性肝炎に対するレジバスピル/ソホスビル配合錠による肝機能検査の経時的変動	吉岡 麻衣
166	幅広い分画波形のため IgG 型 M 蛋白と判断できなかった 2 症例	森山 保則

<10:00-10:30>

座長: 藤中 敦士 (徳島大学病院)

番号	演題名	演者
167	試薬蒸散が原因でコンタミネーションが生じた一例	池田 豊
168	BM6070 における吸光度の分散チェックにより検出したクレアチニンの異常反応	森重 彰博
169	新しい急速凝固真空採血管ニプロ社製ネオチューブ RC-ST の性能評価	道家 章斗

<10:30-11:00>

座長: 今井 佳美 (地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター)

番号	演題名	演者
170	尿中クレアチニン測定試薬6試薬の比較検討	秦 真公人
171	KL-6 院内測定実施に向けての基礎的検討	村山 由佳
172	血清アルカリフォスファターゼ測定における JSCC 法と IFCC 法の比較検討	檜垣 幸佑

<11:00-11:30>

座長: 室 暢彰 (国家公務員共済組合連合会 吉島病院)

番号	演題名	演者
173	Dimension タクロリムス試薬の比較検討	磯田 麻衣
174	生化学自動分析装置を用いた DPP4(Dipeptidyl peptidase-4)活性測定の検討	太田 安彦
175	キヌレニン酵素的測定法の基礎的検討	木村 文香

一般演題(2日目) 【第6会場:情報・チーム医療】 11月27日(日) <8:30~9:50>

<8:30-8:50>

座長:小田 昌弘 (総合病院 岡山赤十字病院)

番号	演題名	演者
176	ICタグ付きラベル(RFID)を活用した採血システム運用経験	石本 学
177	検体搬送仕分システム「ST・ROBOー2016k」の使用経験	出間 智行

<8:50-9:20>

座長:青戸 正樹 (松江赤十字病院)

番号	演題名	演者
178	ひろしま肝疾患コーディネーターとしての院内肝炎ウイルス対策の取り組み	宗本 聖
179	肝疾患サポートチームにおける臨床検査技師の役割	大久保 進之介
180	未採血法によるICG試験の導入効果について	竹野 由美子

<9:20-9:50>

座長:山本 里絵 (国民健康保険智頭病院)

番号	演題名	演者
181	当院の透析室における臨床検査技師の業務について	片岡 友和
182	看護師に向けた検査室からの医療安全への取り組み	黒原 美智
183	当院の糖尿病教室患者アンケート調査	仲 徹

一般演題(2日目) 【第5会場:日臨技企画Ⅱ】 11月27日(日) <9:45~11:15>

<9:45-11:15>

座長:丸田 秀夫 (病棟業務推進施設情報連絡協議会)

番号	演題名	演者
184	聖隷浜松病院における臨床検査技師の病棟業務に関する試み①	直田 健太郎
185	聖隷浜松病院における臨床検査技師の病棟業務に関する試み②	直田 健太郎
186	当院における臨床検査技師の病棟業務に関する試み	齊藤 香織
187	病棟での検査物品管理業務について	浜村 寛
188	業務拡大に伴う人員補助の調整について	樫山 誠也
189	臨床検査技師としての、病棟における糖尿病ケアへの取り組み	伊佐田 耕人

*** 一般演題から日臨技企画Ⅱ ミニシンポジウム「病棟業務」に変更 ***

**平成 28 年度日本臨床衛生検査技師会
中四国支部医学検査学会（第 49 回）実行委員名簿**

学会長	小倉克巳	高知大学医学部附属病院検査部
実行委員長	谷内亮水	高知医療センター医療技術局
事務局長	大宮雅人	近森病院エスアールエル検査室
事務局次長	山中茂雄	高知大学医学部附属病院検査部
実行委員	岡田由香里	高知医療センター医療技術局
実行委員	安野智哉	国立病院機構高知病院
実行委員	中村寿治	県立幡多けんみん病院臨床検査科
実行委員	井上美和	高知高須病院診療技術部
実行委員	高野静香	高知赤十字病院検査部
実行委員	市川 厚	高知大学医学部生理学講座循環制御学
実行委員	西森美佐子	だいいちリハビリテーション病院検査室
実行委員	竹島千秋	愛宕病院臨床検査科
実行委員	川村由佳	高知県総合保健協会検査課
実行委員	池内梨沙	近森病院臨床検査室
実行委員	前岡智佐	(株)ヘルスネット高知創薬センター高知事務所
実行委員	朝霧 圭	いずみの病院検査科
実行委員	中村泰子	高知学園短期大学医療衛生学科
実行委員	久原太助	高知大学医学部附属病院検査部

共催・協賛団体一覧

アークレイマーケティング株式会社	セラビジョン・ジャパン株式会社
アイ・エル・ジャパン株式会社	チェスト株式会社
アクテリオンファーマシューティカルズ ジャパン株式会社	株式会社テクノメディカ
株式会社アスティス	デンカ生研株式会社
アボットジャパン株式会社	東京貿易メディシス株式会社
アルフレッサ篠原化学株式会社	東芝メディカルシステムズ株式会社
株式会社イードクトル	東ソー株式会社
エーディア株式会社	東洋羽毛中四国販売株式会社
株式会社エイアンドティー	中澤氏家薬業株式会社
栄研化学株式会社	日進商事株式会社
株式会社エスアールエル	日水製薬株式会社
株式会社 LSI メディエンス	ニッターボーメディカル株式会社
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社	ニプロ株式会社
株式会社カイノス	日本光電四国株式会社
株式会社キューメイ研究所	日本電子株式会社
協和メデックス株式会社	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
極東製薬工業株式会社	株式会社ビー・エム・エル
小林クリエイト株式会社	株式会社日立ハイテクノロジーズ
株式会社三和化学研究所	フクダ電子四国販売株式会社
株式会社シーメック	富士レビオ株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社	富士フィルムメディカル株式会社
四国医療器株式会社	丸善雄松堂株式会社
四国新薬会	株式会社ミズホメディー
株式会社四国中検	メディカルシステム株式会社
四国八洲薬品株式会社	メルク株式会社
シスメックス株式会社	ヤマサ醤油株式会社
株式会社シノテスト	ラジオメーター株式会社
積水メディカル株式会社	ロシユ・ダイアグノスティックス株式会社
	和光純薬工業株式会社

(五十音順)

平成 28 年 10 月 31 日現在

**平成 28 年度日本臨床衛生検査技師会
中四国支部医学検査学会（第 49 回）
プログラム集**

平成 28 年 11 月発行

発行人 小倉 克巳

発行所 平成 28 年度日本臨床衛生検査技師会
中四国支部医学検査学会（第 49 回）実行委員会
〒780-0850 高知市丸ノ内 1 丁目 7-45
総合あんしんセンター内

TEL : 088-855-6788

印刷所 イブニング・グロー

〒780-0912 高知市八反町 1 丁目 15 番 15 号

TEL : 088-824-2715（会期中のみ）

E-mail : jamt49chushi@e-g.co.jp



尿検査総合搬送システム

尿試験紙、FCM※、イメージング技術の融合が

尿検査を変える

※FCM=フローサイトメトリー

スムーズな処理能力により、迅速な結果報告が可能。

全自動尿分析装置 US-3500:276検体処理/時間

全自動尿中有形成成分分析装置 UF-5000:105検体処理/時間

全自動尿中有形成成分撮像ユニット UD-10:50検体処理/時間

検査の
効率化

検査結果の
価値向上



※写真は、尿検体搬送装置 CV-11 (×3)での接続例です。

全自動尿中有形成成分撮像ユニット

UD-10

全自動尿中有形成成分分析装置

UF-5000

全自動尿分析装置

US-3500
FULLY AUTOMATED URINE ANALYZER

尿検査部門情報管理システム

U-WAM

装置名	製造販売元
一般医療機器 尿化学分析装置 (特定保守管理医療機器) 全自動尿分析装置 US-3500 医療機器製造販売届出番号 2683X00001000011	製造販売元: テラメックス株式会社 〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町354 販売元: 栄研化学株式会社 〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
一般医療機器 尿沈渣分析装置 (特定保守管理医療機器) 全自動尿中有形成成分分析装置 UF-5000 医療機器製造販売届出番号 2882X10007000132	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1

装置名	製造販売元
尿検査部門情報管理システム U-WAM	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1
全自動尿中有形成成分撮像ユニット UD-10	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1
尿検体搬送装置 CV-11	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1

※UF-5000、UD-10、U-WAM、CV-11の性能等につきましては、シスメックス株式会社へお問い合わせください。

*ご使用の際は、本装置に添付の「添付文書」および「取扱説明書」を必ずご参照ください。なお、仕様・外観については予告なしに変更することがございますので、予めご了承ください。



栄研化学株式会社

〒110-8408 東京都台東区台東4丁目19番9号

0101 AK

2016年8月作成

“Why wait for the test result?”

甲状腺機能検査 (TSH・FT4) が 9分以内※に測定可能になりました！

※検体は血清/血漿分離が必要です

基本操作は、簡単な **3ステップ**※※

Step1

検体を添加



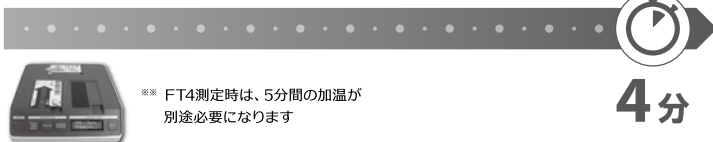
Step2

カートリッジを挿入



Step3

結果の表示



※※ FT4測定時は、5分間の加温が別途必要になります

コンパクトなシステム

3kg

175mm

240mm

260mm



検体の微量化

TSH
35 μ L

FT4
70 μ L

血清又は
ヘパリン血漿



ラポオンチップ技術を用いた、
各種専用試薬カートリッジ

開発中試薬カートリッジ

・カーディアックトリプル (トロポニンI・CK-MB・ミオグロビン)
・BNP

【医療機器製造販売元】

エア・ブラウン株式会社
Think Quality & Create Value

【体外診断用医薬品製造販売元】

ヤマサ醤油株式会社

【総合お問い合わせ先】

ヤマサ醤油株式会社

診断薬部 診断薬営業情報室
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町1丁目23番8号
Tel : 03(3668)8558 Fax : 03(3668)8407

MRSAの早期検出には、
極東のスクリーニング培地を
ご使用ください。

極東バイタルメディア

バイタルメディア

MDRS-K寒天培地

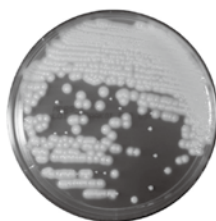
バイタルメディア

MRSA-CI寒天培地

本培地は、臨床材料及び環境中からの MRSA の
選択分離培地です。

培地中に含まれるセフォキシチンによりオキサシリン
低感受性の MRSA も検出可能です。

製品名	製品コードNo.	包装	貯法/有効期限
バイタルメディア	551-05676-1	20枚	4~8℃
MDRS-K寒天培地	551-05677-8	100枚	2ヶ月
バイタルメディア	551-05678-5	20枚	4~8℃
MRSA-CI寒天培地	551-05679-2	100枚	2.5ヶ月



MDRS-K



MRSA-CI

製造販売元(お問い合わせ先)



極東製薬工業株式会社

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7-8

TEL:03-5645-5664 FAX:03-5645-5703 <http://www.kyokutoseiyaku.co.jp>

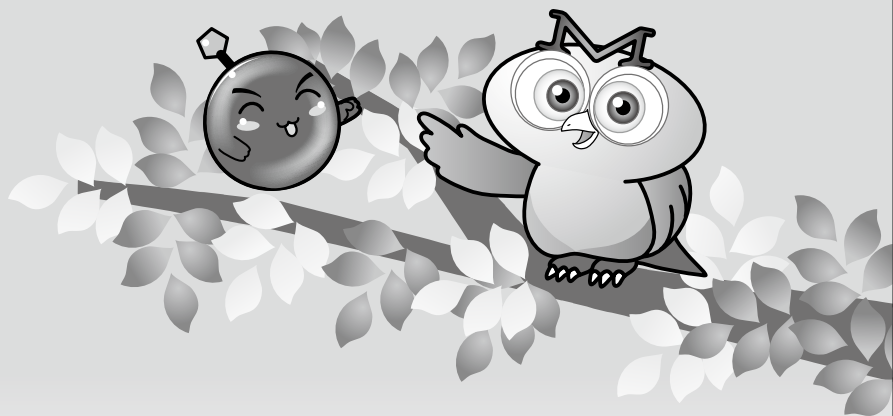
2016.08-1

グリコヘモグロビンA1c測定キット
メタボリード® HbA1c
MetaboLead® HbA1c

Keep your A1c below 7%

HbA1cは1～2ヶ月間の平均的な血糖値を反映することから、
糖尿病の診断、糖尿病合併症予防の為に血糖コントロール指標、糖尿病予防を
目的とした健診等、糖尿病診療に欠かせないマーカーです。

メタボリード®HbA1cは酵素法を測定原理とした
生化学自動分析装置に適応可能な液状試薬です。



- ◎酵素法的測定法によりHbA1cを測定します。
(検体(遠心血球)の希釈には精製水を使用します。)
- ◎試薬による自動分析装置の
セル汚染がありません。
- ◎試薬安定性・精確性に優れています。
- ◎他法と良好な相関性を示します。
- ◎通常の血漿成分の影響は殆どありません。

協和メデックス株式会社

本 社 〒104-6004 東京都中央区晴海1-8-10
TEL. 03-6219-7602 (営業部) <http://www.kyowamx.co.jp/>

学術に関するご質問は… **03-6219-7606**

医療を通じて人々の健康をサポート。 四国全域をカバーするネットワーク。

医療部門・理化学部門では四国4県の支店・営業所を通じ、きめ細やかなサービス、安心できる商品を迅速に提供できるよう努めています。



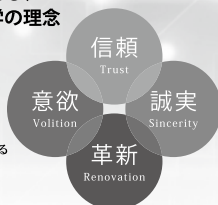
社員一人ひとりにやどる、 アルフレッサ篠原化学の理念

私たちはお客様のためになる
必要とされる会社を目指します。

私たちはお客様に信頼される
誠実な会社を目指します。

私たちは常に革新し続ける勇氣ある
会社を目指します。

私たちは常に努力しがいのある
会社を目指します。



医療

Medical

診断・診断薬部門

各種の検査に必要な検査薬や診断薬を提供。診断薬部門では高知県内トップのシェアを誇っています。ハードの販売だけではなく、情報というソフト面を重視し、人々の健康をやさしく見守っています。

衛生部門

医療に従事する方々のために、各種の衛生材料から消毒関連の資材までを取り扱っています。医療の現場をより清潔に保つ、大切な協役を努めています。

医療機器部門

各種分析装置をはじめ、顕微鏡や通心分離機等、医療に必要な機器を取り扱っています。常に最先端の機器を扱うため、リサーチ活動も欠かきません。

事業案内

医 療	臨床診断薬・医薬品、医療材料・医療機器・在宅酸素、感染予防用品・衛生材料
理 化 学	研究・分析用試薬、理化学器材・機器、理科教材・設備全般
環 境	食品検査用品、環境検査管理用品、廃棄品収集運搬、工業用薬品、浄化槽・プール管理用品、太陽光発電
介護用品	介護・福祉用品の販売並びにレンタル、保健・看護用品、住宅改修
介護サービス	居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、老人ホームの運営
薬 局	調剤薬局、一般医薬品の販売

alfresa

アルフレッサ篠原化学株式会社

事業所／本 社 〒780-8506 高知県高知市南御座9-41
高知支店 〒780-8506 高知県高知市南御座9-41
香川支店 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲1255-10
愛媛支店 〒799-3105 愛媛県伊予市下三谷1-6
徳島支店 〒771-0132 徳島県徳島市川内町平石夷野224-29
四万十営業所 〒787-0023 高知県四万十市中村東町1-81
西条営業所 〒793-0010 愛媛県西条市飯岡261-10

Tel 088-882-5000 Fax. 088-882-5152
Tel 088-882-5000 Fax. 088-882-5152
Tel 087-816-2001 Fax. 087-816-2002
Tel 089-994-8825 Fax. 089-994-8826
Tel 088-678-2201 Fax. 088-678-2203
Tel 0880-34-4361 Fax. 0880-34-4365
Tel 0897-47-5662 Fax. 0897-47-5663

<http://www.e-shinohara.co.jp>

e-mail: info@e-shinohara.co.jp

リチウムキット

エスパ・Li II

体外診断用医薬品

自己認証番号 27A2X00166000024

リチウム製剤は、躁病や躁うつ病の躁状態の治療薬として広く使用されています。しかし、リチウムの有効濃度域は狭く、過剰量を投与された場合はリチウム中毒に至る可能性があります。中毒の初期症状としては、食欲低下、嘔吐、下痢等の消化器症状、振戦、眠気、無気力、錯乱等の中枢神経症状、運動障害、運動失調、発熱、発汗等を示すことがあり、さらに中毒が進むと、急性腎不全により電解質異常が現れ、全身痙攣、ミオクロームス等がみられることが報告されています。リチウムの毒性は血中リチウム濃度と密接な関係にあり、投与に際しては、中毒予防の為に、血中リチウム濃度測定によるモニタリングが必要とされています。

エスパ・Li II は従来法をさらに発展させた汎用自動分析装置に対応した試薬です。

特 長

- ① F28テトラフェニルボルフィリンを主成分としました。
- ② 検体希釈が不要になりました。
- ③ 汎用自動分析装置に対応できます。
(対応機種については弊社までお問い合わせください)
- ④ 開封後の安定性が向上しました。

(資料請求先)

製造販売

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号



SIEMENS

ケミルミADVIA Centaurシリーズ最新機種「XPT」
真のノンストップアッセイを可能にした
改良ポイントをご紹介します。

Answers for life.

改良
ポイント

直感的操作が可能な操作画面と 万全なトラブル回避対策

人間工学を駆使した画面構成。どの画面からもやりたいことに素早く
アクセス→Non Stop Assay!

ソフトウェアは新たにWindows7を採用し各種管理を一元化。機器内
の通信エラー等による機器トラブルを解消し、信頼性が向上→Non
Stop Assay!

複数搭載したハードディスクを随時ミラーリングしながら運用すること
により、万が一のハードディスクのトラブル時でも機器の停止を回避
→Non Stop Assay!

XPT

Expertise
Patient care
Transformation

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
お客様支援センター TEL 0120-543-455
www.siemens.co.jp/diagnostics

展出番号:
ケミルミADVIA Centaur XPT:13B1X10041000029

ACE1115

TOSHIBA

頂きに立つもの。

挑むのは未来。
FX8の彼方に、道はつくられていく。



スーパーランダムアクセス方式による高速処理

2つのメガ試薬庫を装備

三次元ロボットアームがフレキシブルにラックを移送

メンテナンス性にも配慮した設計

搬送接続運用も可能 (オプション)



臨床化学自動分析装置

TBATM-FX8

東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

ディスプレイ方式臨床化学自動分析装置 臨床化学自動分析装置 TBA-FX8
製造販売届出番号: 09B1X00003000076



アボット ジャパンは、今年で日本初のHIV診断薬発売から30周年を迎えます。
これからも検査を通じて、HIVの早期発見と感染拡大の防止につとめてまいります。



**RED RIBBON ×
ABBOTT JAPAN**

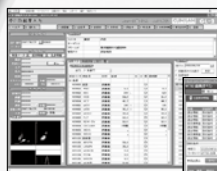


医療と共に歩む。

A&Tは、臨床検査室を統合的にサポートしています。

Computers

臨床検査情報システム



統合型 検査室リソース
プランニングシステム
CLINILAN LRP Suite

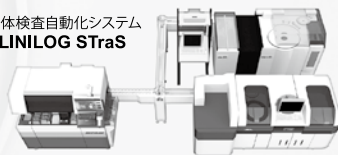


検体検査ソフトウェアモジュール
CLINILAN GL-3

Lab-Logistics

検体検査自動化システム

検体検査自動化システム
CLINILOG STraS



分析前工程
統合管理モジュール
MPAM+



Analyzers

検体検査装置

全自動糖分析装置
GA06



血液凝固分析装置
CG02N

Chemicals

臨床検査試薬



トレボネーマ抗体キット
イムノティクルス オート3 TP
非トレボネーマ脂質抗体キット
イムノティクルス オート3 RPR



株式会社 エイアンドティー

〒221-0056 神奈川県横浜市中区金港町2-6 横浜プラザビル
Tel.045(440)5810 <http://www.aandt.co.jp/>

Bio-Rad Laboratories (C) IMMUNOHEMATOLOGY

The Perfect Move



一般医療機器 特定保守管理医療機器
届出番号：13B3X00206000024

ゲルカラム遠心凝集法
カード用全自動輸血検査装置

IH-500

The Complete Solution for Safe Transfusion

一輸血検査の安全性・信頼性の更なる向上を目指して一

“6軸 ロボットアームテクノロジー”

全世界初、輸血検査領域への応用



BIO-RAD

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-24 天王洲セントラルタワー20F
TEL: 03-6361-7070 (代表)

ふたつの課題に、

免疫検査において、わずか9分*。そして、生化学検査において10分*という短時間測定を可能にした「cobas 8000」は、生化学と免疫モジュールの自在なカスタマイズにより、29通りものコンビネーションを可能に。さらに、先進の試薬マネジメントシステムによる精度の高いデータが、検査室のクオリティ向上に貢献します。より迅速に、より高品質に。その課題に答えるのは、ロシュのハイブリッドです。

*一部の項目は9分・18分・27分。

生化学・免疫統合型分析装置「モジュラーナリテイクス（PE）」を世界で初めて発表したロシュは、2008年、生化学と免疫分野の自在なカスタマイズを実現した「cobas 6000」を発売。そして今、8000コアを備え、大量検体処理と多項目同時分析を実現する「cobas 8000」と進化。いつの時代も、革新的なテクノロジーでハイブリッドを先駆けてきたロシュが、次代の検査室に真の効率化をもたらします。

ハイブリッドで答える。

A. 生化学と免疫。
統合型分析装置で検査室に新たな価値をもたらすロシュから、
「cobas® 8000〈702 | 502 | 602〉」登場。



販売名: コバス 8000 製造販売届出番号: 13B1X00201000062



ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 〒105-0014 東京都港区芝2-6-1
カスタマーサポートセンター ☎ 0120-600-152 <http://www.roche-diagnostics.jp>

汎用自動分析装置用ヘリコバクター ピロリ抗体キット

H. ピロリーラテックス「生研」

ピロリ菌 (*Helicobacter pylori*) は、人の胃粘膜に棲み、胃粘膜上皮に慢性的な炎症を起こします。炎症症状が進行すると胃粘膜が萎縮し、胃がんの発生源地となることが知られています。

特徴

- ラテックス凝集免疫比濁法を用いています。
- 汎用自動分析装置向けの検査試薬で、検体は血清または血漿を使用するため、ペプシノーゲン法と併せて胃がんリスク検診を行うことができます。
- 短時間で多数検体の処理が可能です。
- 日本人からの分離株 (遺伝子型: 東アジア型) を抗原に使用しているので、反応性が良好です。
- 感度が高く、臨床における偽陰性診断の減少が期待でき、胃がんリスク検診にも有用です。

生研  デンカ生研株式会社

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号 (日本橋三井タワー)
TEL: 03-6214-3231 (代) FAX: 03-6214-3241



誠意・責任・親和

人々が健康で素晴らしい生活を

築いていけることが私たちの願いです。



病院設備・医療機器・在宅医療・物流管理システム・メンテナンス

株式
会社 **シーメック**

高知本社 〒780-0087 高知県高知市南久保9-8

TEL:088-880-0666 FAX:088-880-0668

四万十営業所・愛媛支店 松山営業所/新居浜営業所/宇和島出張所/今治出張所・高松営業所

地域の発展と豊かな環境を目指し、我々は進化します。

四国八洲薬品株式会社

www.shikoku-yashima.co.jp

本 社 〒770-0873 徳島県徳島市東沖洲2丁目17番地
TEL (088)664-6321(代表)
高松営業所 〒761-0301 香川県高松市林町148-19
TEL (087)815-1111(代表)
松山営業所 〒791-1102 愛媛県松山市来住町1445番1
TEL (089)960-0260(代表)
新居浜営業所 〒792-0050 愛媛県新居浜市萩生545-3
TEL (0897)43-8001(代表)
高知営業所 〒780-0082 高知県高知市南川添21-13
TEL (088)884-8881(代表)

取扱品目

試験・研究用試薬
一般試薬、輸入試薬
体外診断薬
化成品及び工業薬品
医薬品及び動物薬品
試験研究用分析機器、器材
バイオ関連機器、器材
臨床検査用機器、器材
コンピューターのハードウェアとソフトウェア



ISO9001 品質マネジメントシステム認証取得



ISO14001 環境マネジメントシステム認証取得

「見たことない」を見にきてください

医療関係者の皆様には、
BML総合研究所をご覧いただけます。
(平日10:00~16:00・要予約)



Laboratory

徹底した全自動臨床検査を可能にした
BML総合研究所が、私たちの誇りです。



Bio



Medical



株式会社ビー・エム・エル

BML

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3 TEL:03-3350-0111 (代表) FAX:03-3350-1180
BML 総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市釣場 1361-1 TEL:049-232-3131 (代表) FAX:049-232-3132
臨床検査技師、募集中! 詳細は弊社HPをご覧ください http://www.bml.co.jp/index_j.html

健康で豊かな
社会づくりに貢献する

みらかグループ

事業内容

- 受託臨床検査事業
- 健診機関の運営受託・健康増進サービス
- 滅菌・手術業務支援サービス
- 治験（医薬品開発）支援
- 福祉用具レンタル卸



SIRIL 株式会社 エスアールエル
Communication for Health

- ◆ 本社・検査ラボラトリー・営業所を含む全国の事業所において ISO14001 の認証を取得し、地球環境に配慮した事業活動を推進していきます。
- ◆ 「プライバシーマーク」の認定を取得し、個人情報保護を徹底しています。

本社：〒163-0409 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号 新宿三井ビルディング
TEL:03-6279-0900 (大代表) <http://www.srl-group.co.jp/>

IL-1a/IL1b/IL1RA/IL2r/IL6r キット
ステイシアCLEIA IL-2R

よりはやく、より正確に

検査時間を短縮できます。
約19分で測定結果が得られます。

検体種を選びません。
血清に加え、血漿(ヘパリン、EDTA)の測定が可能です。

測定レンジが広く、正確です。
50~100,000 U/ml を正確に
測定できます。

株式会社LSIメディンス

製造販売元

(本社) 〒101-8517 東京都千代田区外神田一丁目13番4号
お問い合わせ TEL 03-5594-2616 (平日 9:00~17:45)

科学の未来を創造する。

臨床検査に貢献。

多様化するニーズに対応する。

科学研究と臨床検査機器・臨床検査用試薬の総合商社

日進商事株式会社

本社 〒780-0901

高知市上町5丁目6番15号

中村営業所 〒787-0019

四万十市具同 8608 番地 1(3-305)

松山オフィス 〒791-1115

松山市土居町 842-1(201)

TEL (088)822-3141(代)

FAX (088)822-3140

<http://www.nisshin-syouji.co.jp>



私たちは 人とからだを ささえる企業です。

私たち四国医療器株式会社は、地域の医療施設や研究機関に対し、
ハイクオリティーな医療器械、器具や設備、理化学器械などを提供することによって
豊かな社会と健康づくりに奉仕します。



Shikoku
Medical
Instruments

四国医療器株式会社

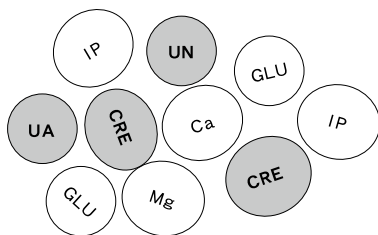
本社/〒760-8567 香川県高松市錦町1丁目11-11 TEL (087) 851-3318
<http://www.shikokuiryoki.com>

- 香川営業所/高松市香川町川東下277-1
- 高知支店/高知県高知市稲荷町10-7
- 中村営業所/高知県四万十市右山天神町9-19
- 東予営業所/愛媛県西条市喜多川1158-1
- 松山営業所/愛媛県松山市東石井6-5-12
- 徳島出張所/徳島県徳島市中島田町4丁目2-2

複数項目をこれ1本で!

検量線用
標準血清

- ベースにヒト血清を使用しています
- 表示値は固定です
- 値付けの根拠が明確です



血清マルチキャリブレーター「カイノス」

製造販売元



株式会社 カイノス

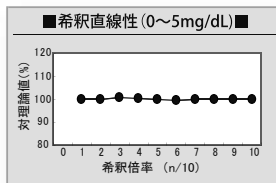
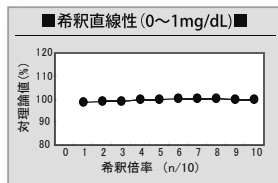
本社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-18
☎ 03 (3816) 4485 URL: <http://www.kainos.co.jp>

血液・尿検査用クレアチニンキット

シグナスオート CRE

特長 ● **正確性が良好です**
(希釈直線性、同時再現性が良好です)

● **共存物質の影響をほとんど受けません**
(L-プロリン、ドパミンの影響を軽減しています)



■同時再現性■

測定回数: 20回 単位: mg/dL

	試料1	試料2
Mean	0.87	1.11
S.D.	0.01	0.01
C.V.(%)	0.85	0.67
Range	0.02	0.02

(試験成績は日立7180形自動分析装置によるものです。)

製造販売元 **株式会社 シノテスト**

神奈川県相模原市南区大野台 4-1-93
http://www.shino-test.co.jp

《問い合わせ先》
株式会社 シノテスト サービスチーム
☎ 0120-66-1141 FAX 042-753-1892

12T06F1

Nittobo

体外診断用医薬品

栄養アセスメント蛋白

N-アッセイ TIA プレアルブミン ニットーボー
プレアルブミン測定用試薬 (免疫比濁法)

N-アッセイ TIA Tf-H ニットーボー
トランスフェリン測定用試薬 (免疫比濁法)

N-アッセイ LA RBP ニットーボー
レチノール結合蛋白測定用試薬 (ラテックス凝集比濁法)

RTP (rapid turnover protein) は

1. 半減期が短く代謝回転率が早い蛋白です。
2. 栄養状態を鋭敏に反映します。
3. 短期的な栄養状態の管理に有用です。

試薬の特徴

1. 汎用の自動分析装置で測定可能です。
2. 優れた精密性、定量性を有します。
3. 測定時間が短く、ルーチン検査に適しています。

製造販売元: **ニットーボーメディカル 株式会社**

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島 1 番地

本社 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1
TEL.03-4582-5420 FAX.03-3238-4591

臨床検査と食品検査で 健康と食の安全を支えます



CLCHUKEN

セントラルバイオラボトリー

株式会社 **四国中検**

高知検査所 / 高知県高知市五台山タナスカ4987-1 〒781-8125

TEL (088) 883-5535 FAX (088) 883-5041

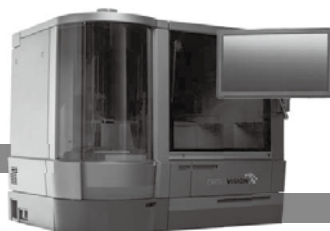
検査所 / 香川検査所(本部)・高知検査所・松山検査所・徳島検査所

食品検査 / 食品解析センター高松検査所

<http://www.s-cyuken.co.jp/>

Ortho Clinical Diagnostics

Analyzer
ORTHOVISION®



全自動輸血検査システム オートビジョン® 製品番号 1383X101R2000013

Transfusion medicine has evolved
in order to enhance safety and
establish critical efficiencies

すべての患者様に安心していただくために、
皆様が安全な輸血検査を行うために、
私たちはオートは皆様の業務を理解し、サポートしていきます。

「安全」と「信頼」をお届けするため
私たちはこれからも歩み続けていきます。

オート・クリニカル・ダイアグノスティクス 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-1-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

お客様サポートセンター Tel.0120-03-6527

URL <http://www.orthoclinical.com/ja>

©Ortho-Clinical Diagnostics K.K. 09-1G5



検査環境にフレキシブルに対応
— HISCLシリーズ —



全自動免疫測定装置

HISCL[®]-5000

医療機器製造販売届出番号:28B2X10007000117



全自動免疫測定装置

HISCL[®]-800

医療機器製造販売届出番号:28B2X10007000125

医療環境の検査部門に求められる効率化と
高付加価値化に必要なポテンシャルを備えた最先端シリーズ。

迅速測定

高感度

微量検体

優れた
ユーザビリティ

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

We Believe the Possibilities.

製造販売元

シスメックス株式会社

本社 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 〒651-0073

国内事業推進本部 Tel 078-992-6124

支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-411-4314
営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707
金沢 076-221-9363 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

www.sysmex.co.jp



注：画像はイメージ。実際の製品は写真と異なる場合があります。
詳細は www.sysmex.co.jp の「お問い合わせ」をご覧ください。

Note: Images of sites and activities vary depending on the standards,
for details, refer to the B-101000000 or www.sysmex.co.jp

免疫発光測定装置

ルミパルス® L2400



High throughput
高い処理能力

240 Test/h

Usability
シンプル操作

いつでも、だれでも
簡単操作
簡単メンテナンス

Extensibility
拡張性

コンパクトデザイン
搬送接続

Data Compatibility
データの互換性

ルミパルスシリーズ
豊富な試薬の
ラインナップ

免疫発光測定装置

ルミパルス® L2400



- 240 テスト / 時間の検体測定を省スペースで実現。
- 最大 24 項目の同時測定が可能。
- 外部サンプリングにより、1 本搬送・5 本ラック搬送接続に対応可能。

免疫発光測定装置

ルミパルス® G1200



- 最大 36 項目の試薬同時架設が可能。
- 最大 24 項目の同時測定が可能。
- 豊富な試薬項目、省スペース、簡便操作を実現。

免疫発光測定装置

ルミパルス® G600II



- データ処理部を本体一体型（タッチパネル）とし、卓上型にふさわしい省スペース化を実現。
- ルミパルスシリーズ上位機種とのデータ互換性を実現。
- 測定頻度が少ない項目でも効率的に測定が可能。

※ 仕様および形状は、改良などのため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 「ルミパルス」「LUMIPULSE」は富士レビオ株式会社の登録商標です。



製造販売元

富士レビオ株式会社

（問い合わせ先）

お客様コールセンター

☎ 0120-292-832